

施策目標に関する市民意識調査 報告書

(平成29年度市民アンケート取りまとめ)

平成29年8月

仙台市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査仕様	1
4. 調査期間	1
5. 回収率	1
6. 報告書の見方	2
7. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 住居形態	3
(4) 職業	3
(5) 世帯構成	4
(6) 居住区	4
(7) 仙台市の居住年数	4
(8) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較	5
II. 調査結果	7
1. 仙台市における住みやすさなど	7
(1) 仙台市の住みやすさ	8
(2) 仙台市への愛着	10
(3) 今後の仙台市への居留意向	11
2. 基本計画に基づく施策の評価	13
(1) 項目別結果一覧	14
(2) 力をいれるべき施策結果一覧	19
(3) 設問別・属性別結果	21
4. 自由意見	45
III. 資料	49
調査票	49

I . 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、本市が重点的に取り組む施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、年齢層別の視点も含め総合的な分析を行い、その結果を施策の進捗管理に活かすことにより、本市の重点施策の推進を図ることを目的とする。

2. 調査項目

(1) 仙台市における住みやすさなど

仙台市の住みやすさ、仙台市への愛着、今後の仙台市への居住意向

(2) 基本計画に基づく施策の評価

施策の評価、力をいれるべき施策

(3) 自由意見

3. 調査仕様

- (1) 調査地域 仙台市全域
- (2) 調査対象 仙台市に居住する満 18 歳以上の男女 6,000 人
- (3) 抽出方法 平成 29 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
平成 29 年 5 月 19 日	平成 29 年 6 月 2 日	平成 29 年 6 月 6 日

5. 回収率

	対象者数	有効回収数	有効回収率
平成 29 年度	6,000 人	2,193 票	36.6%

6. 報告書の見方

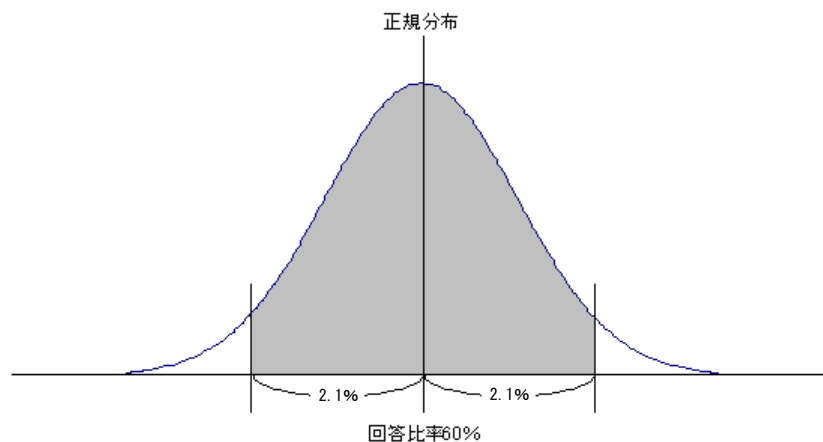
- ・調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多岐選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・標本誤差^{※1}は下記の通りである。
等間隔抽出法^{※2}の標本誤差は次の式によって得られる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\left\{ \frac{N-n}{N-1} \right\} \times \left\{ p \times (1-p) / n \right\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数（サンプル数） P=回答比率

n	p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,193		±1.3%	±1.7%	±1.9%	±2.1%	±2.1%
1,000		±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500		±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200		±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100		±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50		±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

表の見方：ある設問の回答者数が2,193で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも2.1%以内（57.9～62.1%）とみることができる。
また、標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）及び回答比率（P）によって異なる。



※1 標本誤差：標本調査の結果として得られた推計値の正確さを表す数値。この場合の標本調査は調査の客体を無作為に選んだものでなければならない。

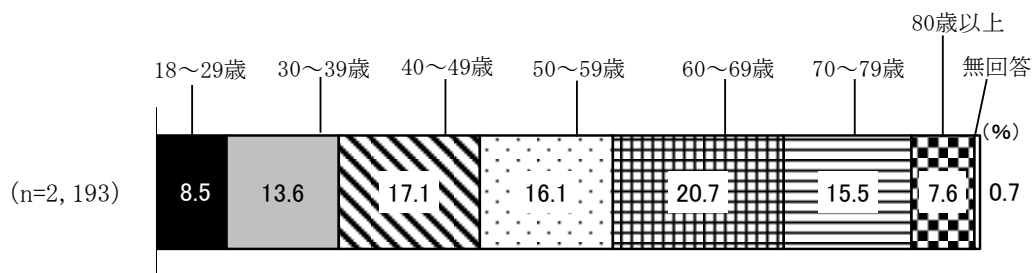
※2 等間隔抽出法：母集団の全てに通し番号をつけ、ランダムに出発番号を決め、一定の間隔毎にサンプルを抽出して行く方法。

7. 回答者の属性

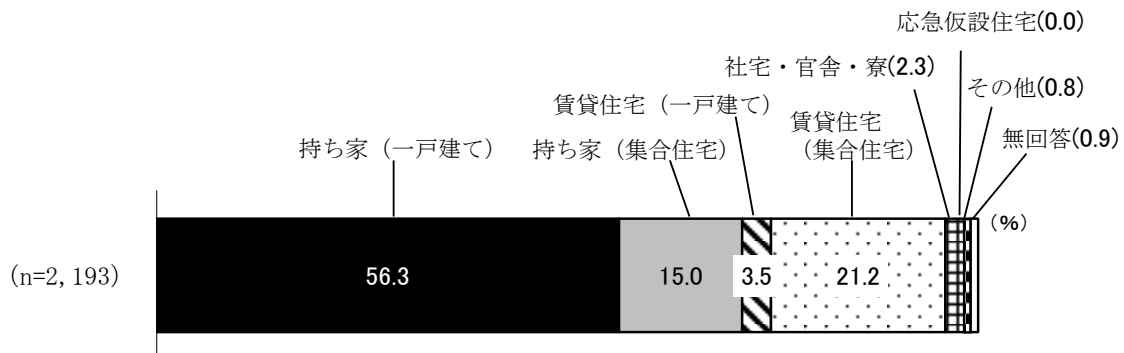
(1) 性別



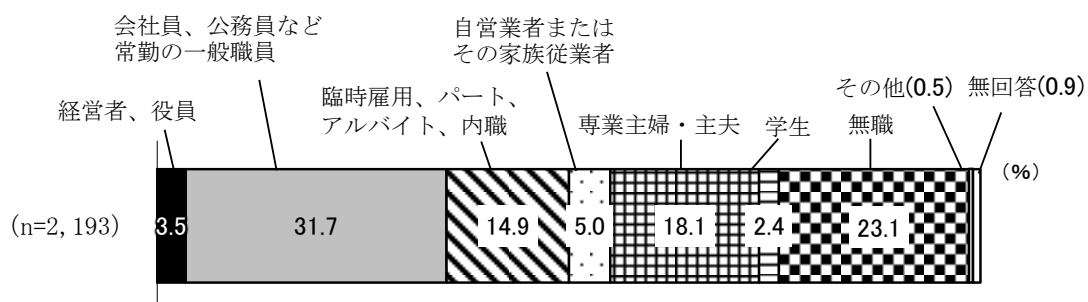
(2) 年齢



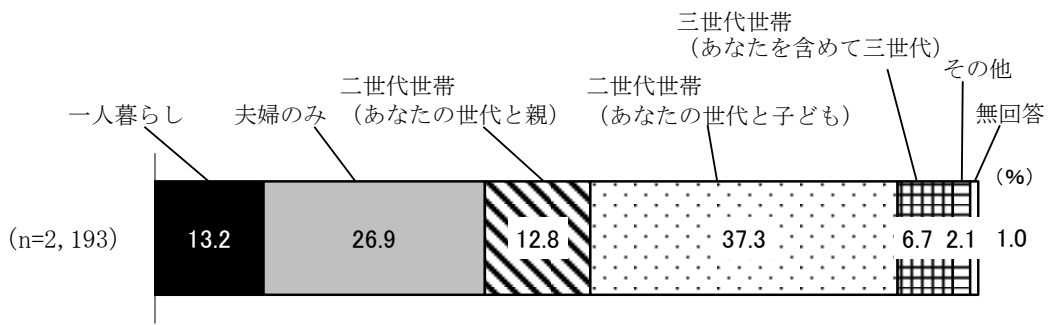
(3) 住居形態



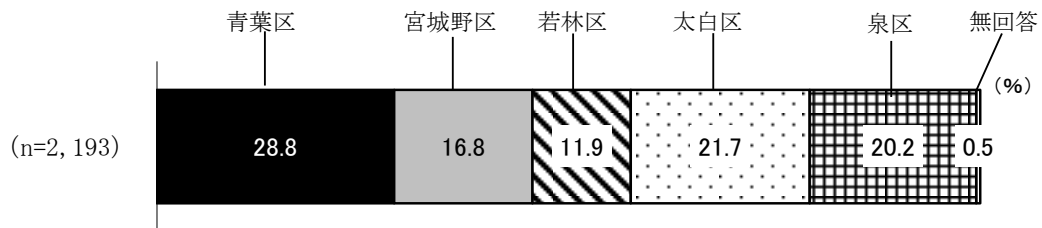
(4) 職業



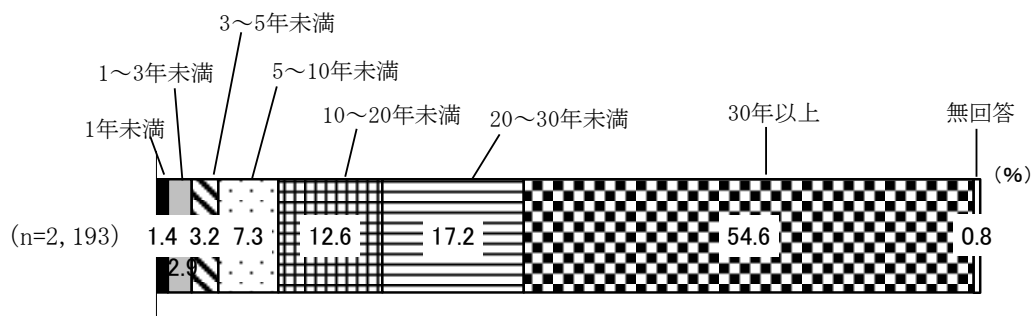
(5) 世帯構成



(6) 居住区



(7) 仙台市の居住年数



(8) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較

	母集団数 (人)	割合 (%)	有効回収数 (票)	割合 (%)
年齢層別				
18～29 歳	139,767	15.8	186	8.5
30～39 歳	145,473	16.5	299	13.6
40～49 歳	166,621	18.9	375	17.1
50～59 歳	128,493	14.6	354	16.1
60～69 歳	137,446	15.6	455	20.7
70～79 歳	96,178	10.9	341	15.5
80 歳以上	68,981	7.8	167	7.6
無 回 答			16	0.7
計	882,959	100.0	2,193	100.0
性別				
男 性	423,071	47.9	912	41.6
女 性	459,888	52.1	1,254	57.2
無 回 答			27	1.2
計	882,959	100.0	2,193	100.0

※母集団数は、平成 29 年 5 月 1 日現在 住民基本台帳による。

II. 調查結果

II. 調査結果

1. 仙台市における住みやすさなど

設問別・属性別結果（P7～12）

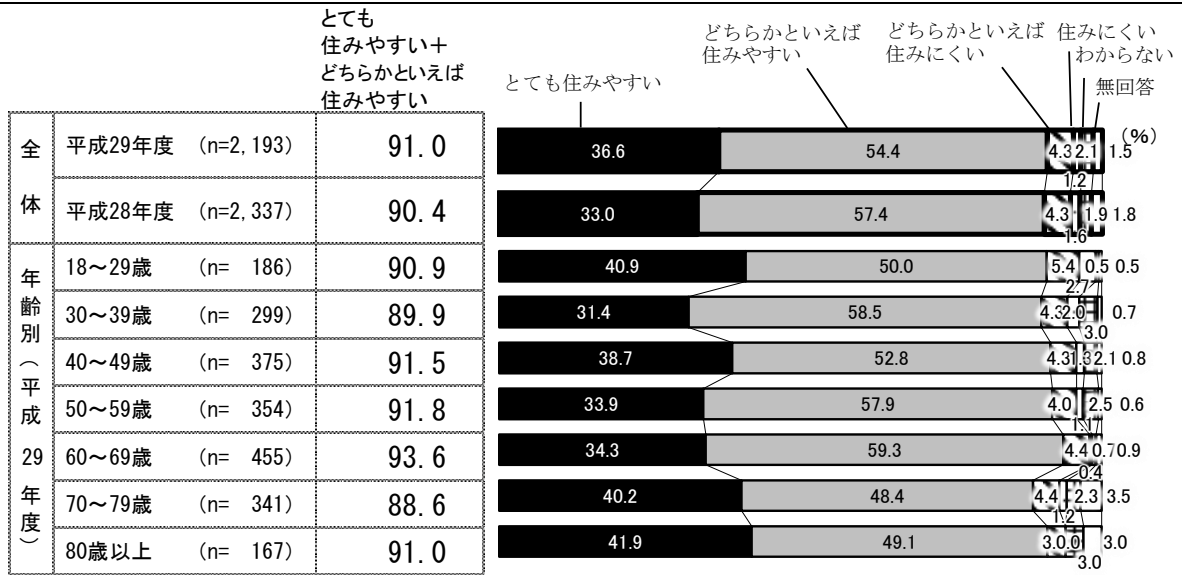
「仙台市における住みやすさなど（問1～問3）」の各項目について、4段階評価（1 そう思う、2 どちらかといえば思う、3 どちらかといえば思わない、4 思わない）の結果をまとめている。また、問1と問3については、その評価を選んだ理由についても尋ねている。

まとめ

- 「仙台市の住みやすさ」、「仙台市への愛着」、「今後の仙台市への居留意向」を尋ねたところ、“そう思う+どちらかといえばそう思う”と回答した方は9割程度となっており、昨年度とほぼ同様であった。
- 「仙台市は住みやすい」と答えた方に理由を尋ねると、上位から割合が高い順に、「通学、通勤、買い物など生活が便利」、「自然環境に恵まれている」、「友人・知人などがある」となっている。
- 「これからも仙台市に住み続けたいと思わない」と答えた方に理由を尋ねると、上位から割合が高い順に、「自分の家（土地）ではないから」、「家賃・地代が高いから」、「物価が高い」となっている。

(1) 仙台市の住みやすさ

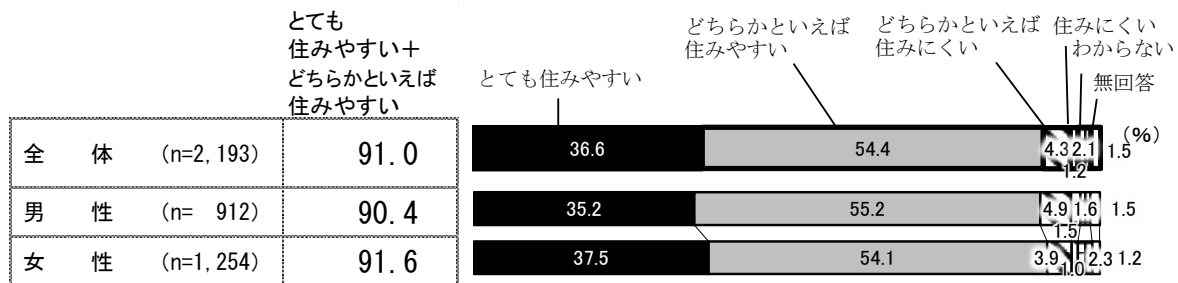
問1 仙台市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。



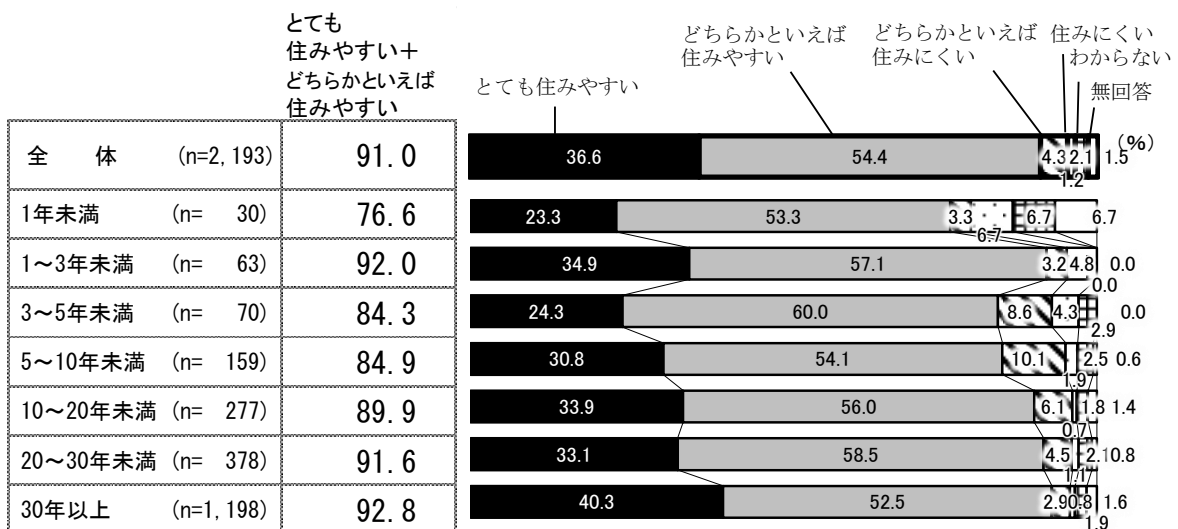
全体では、“とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい”の割合が91.0%とかなり高くなっている。

昨年度と比べると、“とても住みやすい”と答えた方が3.6ポイント増え、“どちらかといえば住みやすい”と答えた方が3.0ポイント減っている。

年齢層別では、60~69歳で“とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい”の割合が93.6%となっており、特に高くなっている。

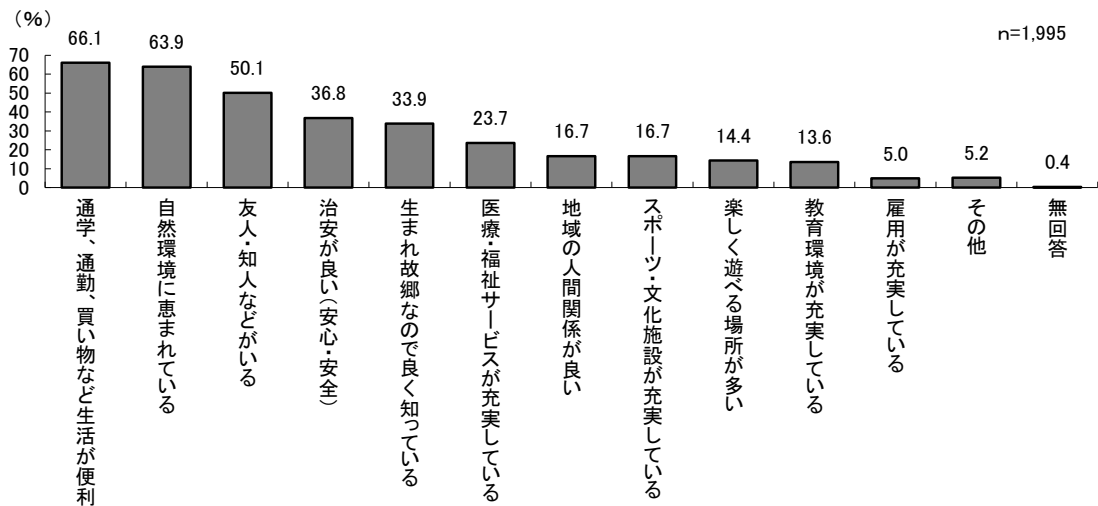


性別で見ると、“とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい”の割合にあまり違いは見られないが、“とても住みやすい”の割合は女性が男性を1.2ポイントと若干上回っている。



居住年数別で見ると、概ね居住年数が長くなるほど“とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい”の割合が高くなる。また、1～3年未満、20年以上で9割を超え、非常に高くなっている。

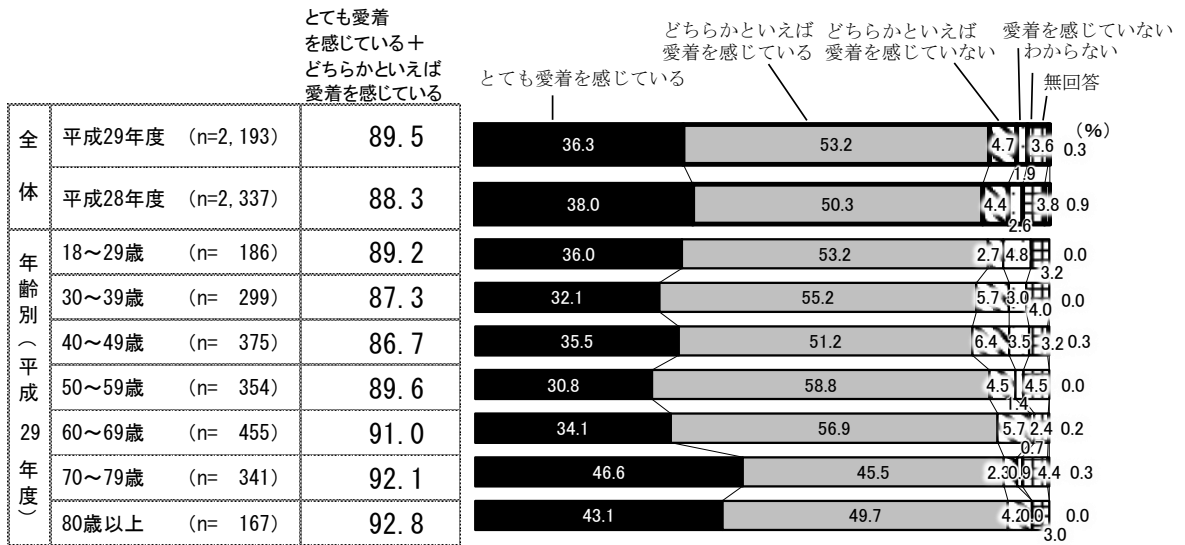
1（とても住みやすい）または2（どちらかといえば住みやすい）と回答した方にお聞きします。上記で、1または2を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。



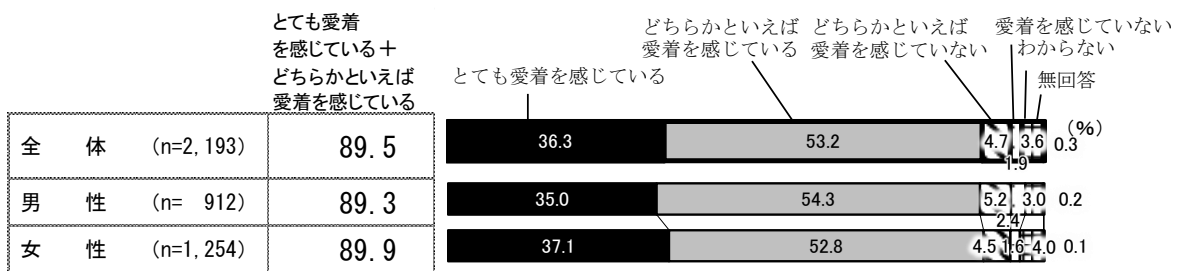
仙台市の住みやすさについて、“とても住みやすい”または“どちらかといえば住みやすい”と答えた方にその理由を尋ねたところ、“通学、通勤、買い物など生活が便利”が66.1%と最も高く、“自然環境に恵まれている”が63.9%で続いている。以下、“友人・知人などがいる”(50.1%)、“治安が良い(安心・安全)”(36.8%)、“生まれ故郷なので良く知っている”(33.9%)が続いている。

(2) 仙台市への愛着

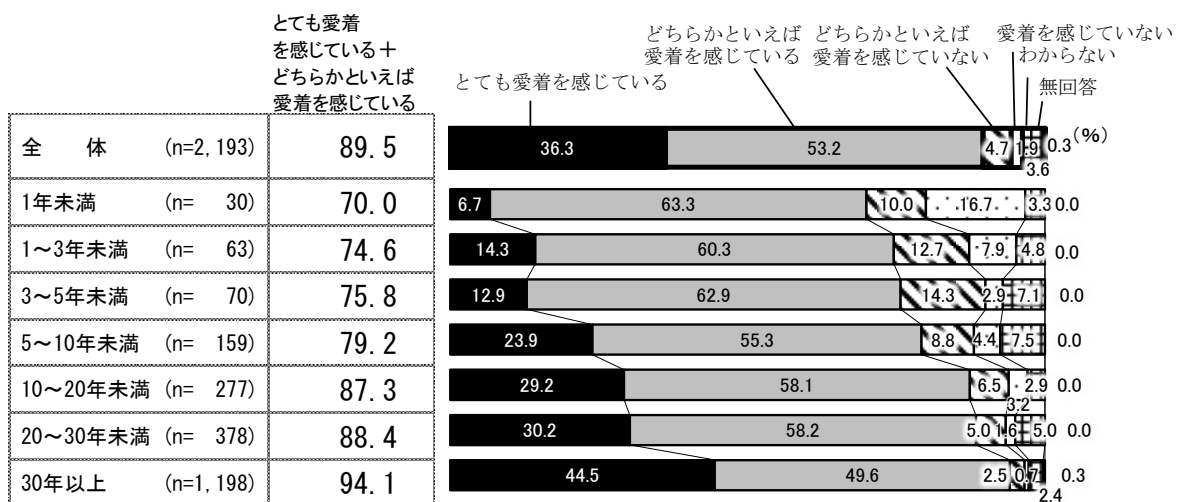
問2 仙台市に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。



全体では、“ととも愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている”の割合が89.5%とかなり高くなっている。年齢層別では、60歳以上で“ととも愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている”の割合が9割を超えており、他の年齢層より高くなっている。



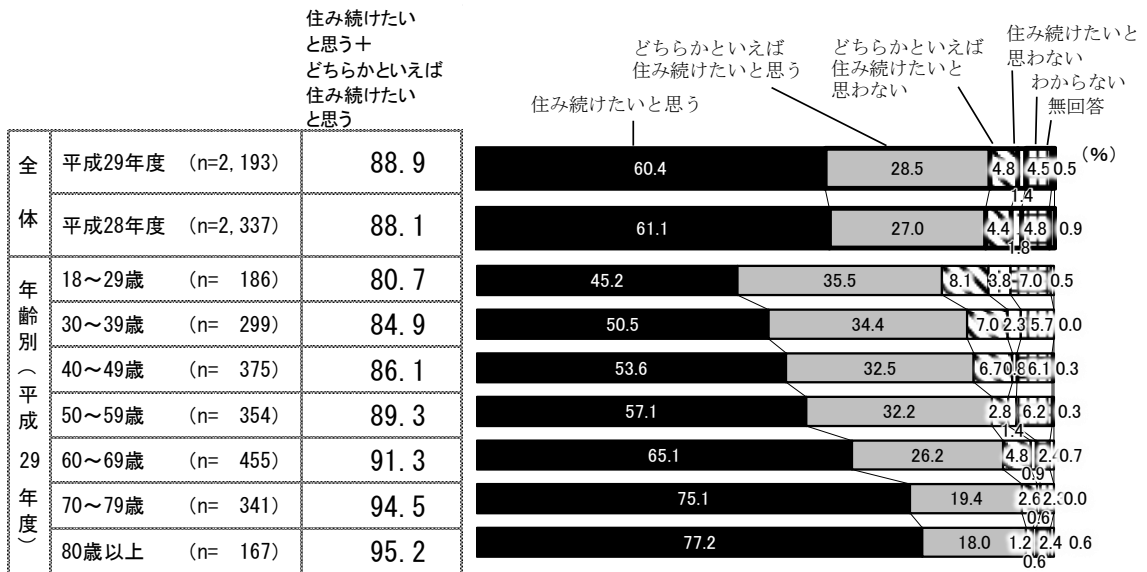
性別で見ると、“ととも愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている”の割合にあまり差は見られない。



居住年数で見ると、居住年数が長くなるほど、“ととも愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている”の割合が高くなっており、30年以上は9割以上とかなり高くなっている。また、居住年数が1年未満において、“愛着を感じていない”の割合が非常に高くなっている。

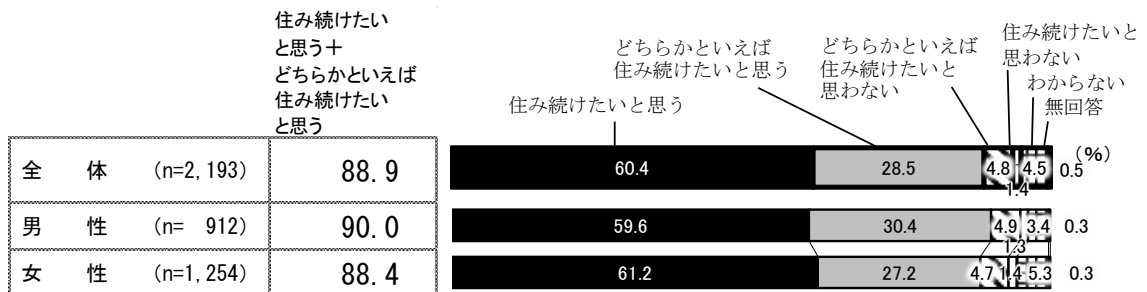
(3) 今後の仙台市への居住意向

問3 これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

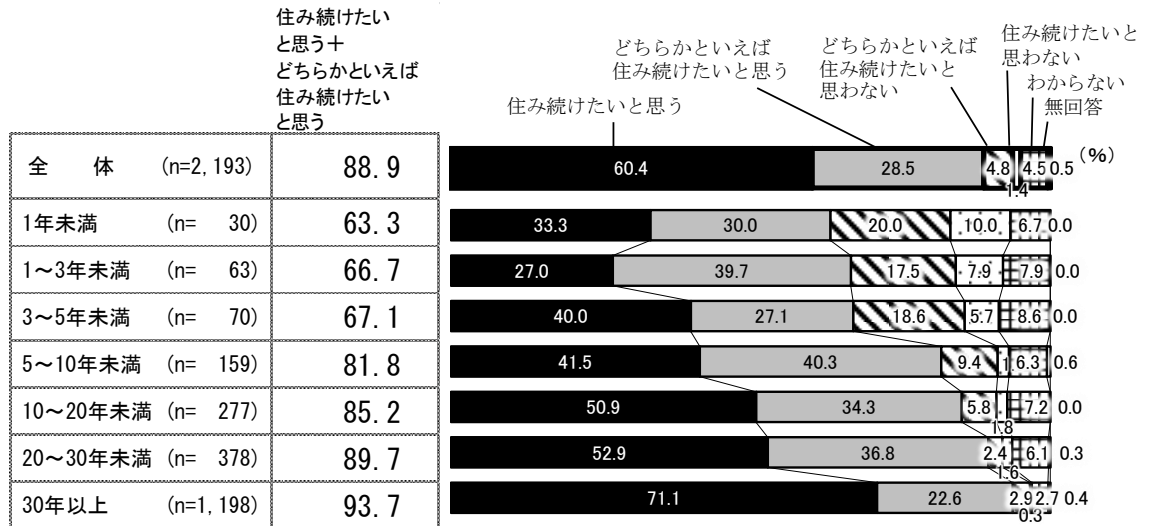


全体では、“住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う”の割合が88.9%とかなり高くなっている。

年齢層別では、年齢層が上がるほど“住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う”の割合が高くなる傾向が見られ、60歳以上で9割以上となっている。

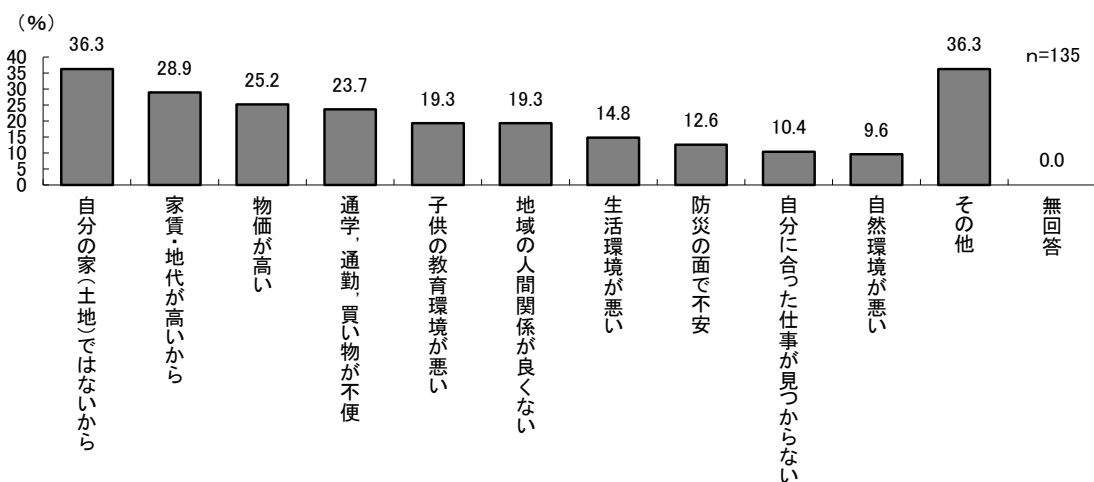


性別で見ると、“住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う”の割合は男女であまり差は見られない。



居住年数で見ると、居住年数が長くなるほど、“住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う”の割合が高く、特に20年以上は9割程度と、非常に高くなっている。一方で、居住年数が5年未満においては、“住み続けたいと思わない”と“わからない”の割合が他の居住年数層に比べ、非常に高くなっている。

3（どちらかといえば住み続けたいと思わない）または4（住み続けたいと思わない）と回答した方にお聞きします。上記で、3または4を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。



※ “その他”の主な回答は、「住み続けたい理由がない・他都市に住んでみたい：10件」、「税金が高い：3件」、「モラルがない・マナーが悪い：2件」など

仙台市への居住意向について、“どちらかといえば住み続けたいと思わない”または“住み続けたいと思わない”と答えた方にその理由を尋ねたところ、“自分の家（土地）ではないから”が36.3%と最も多く、次に“家賃・地代が高いから”（28.9%）、“物価が高い”（25.2%）、“通学、通勤、買い物不便”（23.7%）が続いている。

2. 基本計画に基づく施策の評価

(1) 項目別結果一覧 (P13~19)

「基本計画に基づく施策（問4～問11）」の各項目について、4段階評価（1 評価する、2 どちらかといえば評価する、3 どちらかといえば評価しない、4 評価しない）の結果をまとめている。

(2) 力をいれるべき施策結果一覧 (P20~21)

「基本計画に基づく施策（問4～問11）」の各項目について、「今後、特に力をいれていくべきと思う施策」についての回答結果をまとめている。

(3) 設問別・属性別結果 (P22~45)

「基本計画に基づく施策（問4～問11）」の各項目について分析している。

まとめ

- 項目別結果の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が最も高いのは、「仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり（82.8%）」であり、次いで「プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり（73.6%）」、「ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり（71.7%）」となっている。
- 項目別結果の“評価しない+どちらかといえば評価しない”の割合が最も高いのは、「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進（59.8%）」であり、次いで「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり（36.5%）」、「子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実（34.8%）」となっている。
- “わからない+無回答”については、「起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援（49.3%）」、「IT や健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致（46.9%）」、「農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化（46.5%）」の順となっている。
- “今後、特に力をいれるべき施策”の割合が最も高いのは、「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進（54.1%）」であり、次いで「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり（49.2%）」、「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり（41.4%）」となっている。

(1) 項目別結果一覧

問4～問11 仙台市の各取り組みに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

		(n=2,193)	評価する+ どちらかといえば 評価する	どちらかといえば 評価する	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない	無回答
問4 まちづくりの資源を生かす	1. 市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり	62.3	17.9	44.4	9.2	3.8	21.6	3.2
	2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり	56.5	14.0	42.5	12.5	4.6	22.1	4.2
	3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	52.5	15.5	37.0	14.5	4.6	24.1	4.3
問5 暮らしやすい環境	1. 男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進	46.1	10.4	35.7	16.0	6.1	27.1	4.7
	2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	65.8	19.7	46.1	12.7	4.7	13.6	3.3
	3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	47.3	13.2	34.1	19.7	8.5	21.4	3.1
	4. 障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり	42.7	9.9	32.8	17.6	7.5	27.9	4.3
問6 子育て支援や教育環境の充実	1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり	54.4	14.3	40.1	11.5	5.1	23.5	5.5
	2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり	44.5	11.3	33.2	17.7	8.4	24.0	5.3
	3. 「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり	43.1	11.4	31.7	16.1	5.2	30.3	5.4
	4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実	42.7	10.4	32.3	11.6	4.5	35.8	5.4
	5. 子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	32.5	7.3	25.2	21.6	13.2	27.1	5.7
	6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	17.9	6.9	11.0	21.3	38.5	16.7	5.5
	7. 児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり	35.6	7.3	28.3	20.0	10.4	28.1	5.9
	8. 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり	38.2	9.1	29.1	19.4	10.4	26.4	5.5
問7 安全で安心な市民の暮らしを支える	1. 医療サービスや救急医療体制の充実	67.3	18.6	48.7	12.8	4.3	11.9	3.8
	2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新	60.5	13.8	46.7	13.5	5.1	16.9	4.1
	3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化	61.5	14.5	47.0	13.6	4.1	15.8	4.9
	4. 消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化	48.6	10.0	38.6	14.6	3.8	28.2	4.8
	5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実	62.3	15.2	47.1	12.4	3.4	17.1	4.7
	6. 防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり	49.1	10.4	38.7	17.1	4.9	24.2	4.6

(n=2,193)

評価する+
どちらかといえば
評価する

どちらかといえば
評価する
どちらかといえば
評価しない
わからない
無回答

自然と調和した持続可能な都市づくり	問8 1. 温室効果ガス排出削減や省エネ・創エネ・蓄エネ（3E）の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり	35.2	6.4	28.8	16.3	5.4	37.8	5.3
	2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	71.7	19.2	52.5	10.6	3.6	10.6	3.6
	3. レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化	36.5	6.6	29.9	16.6	5.0	37.1	4.8
	4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	65.5	17.5	48.0	12.0	5.4	12.4	4.7
	5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成	63.8	16.4	47.4	12.6	5.7	13.5	4.4
	6. 都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり	45.9	8.7	37.2	19.2	6.9	22.8	5.2
	7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	53.4	15.4	38.0	20.5	16.0	6.1	4.1
人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	問9 1. 地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出	40.6	8.0	32.6	17.2	6.3	30.6	5.3
	2.働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用等、企業等における女性の活躍推進	31.0	6.3	24.7	23.7	9.8	30.6	5.0
	3.賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	36.3	6.5	29.8	24.7	8.8	28.0	5.2
	4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化	24.6	4.5	20.1	24.4	7.5	41.0	5.5
	5. 国内外の観光PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大	45.8	7.3	38.5	17.4	5.7	26.4	4.7
	6. 国際交流の推進	45.3	8.1	37.2	15.6	4.8	29.1	5.2
	7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	73.6	23.5	50.1	8.4	8.0	10.3	4.7
	8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	82.8	31.1	51.7	5.3	3.2	5.5	3.8
	9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援	31.7	5.1	26.6	14.7	4.2	44.2	5.1
	10. ITや健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致	30.3	5.7	24.6	17.7	5.1	41.6	5.3
	11. 市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり	46.1	8.7	37.4	19.9	9.2	20.3	4.5
安全安心・心の回復・暮らしや経済の再建・安継全承	問10 1. 孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心身の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援	41.6	8.3	33.3	19.5	5.7	29.3	4.0
	2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援	53.8	10.4	43.4	14.3	5.0	22.6	4.3
	3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興	53.9	10.4	43.5	12.9	4.4	24.4	4.5
	4. 仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致	44.9	9.4	35.5	14.3	5.7	30.3	4.8
	5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策	55.2	13.2	42.0	12.6	5.3	22.2	4.7
	6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信	60.2	14.0	46.2	12.8	4.0	18.2	4.7
促進のや市民参加の市政	問11 1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進	40.9	6.7	34.2	12.1	3.5	39.7	3.9
	2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進	47.2	8.7	38.5	14.6	4.8	29.6	3.7

「問4 学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「1. 市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり」(62.3%)、「2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり」(56.5%)と評価が高く、これらは本市が実施している「ジャズフェス」、「とっておきの音楽祭」、「せんくら」など多様な音楽イベントが魅力として定着してきたためと考えられる。続いて、「3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」(52.5%)が高い評価を得ており、これは本市が実施している産学官連携事業などが評価されたためと考えられる。

「問5 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進」(65.8%)の評価が最も高く、「3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」(47.3%)が続いている。これらは本市の保健事業・検診体制等が比較的充実していることが、評価されたものとする。

「問6 子育て支援や教育環境の充実」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり」(54.4%)の評価が最も高く、「2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり」(44.5%)、「3. 「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり」(43.1%)の順で続いている。これは本市が進める国家戦略特区の活用により、都市公園内に保育所を設置したことなど、保育環境整備による保育サービスの拡充が一定程度図られたためと考えられる。

一方、「6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」は17.9%と評価が低く、“評価しない+どちらかといえば評価しない”の割合が59.8%と高くなっており、更なるいじめ防止に向けた取り組みが必要である。

「問7 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「1. 医療サービスや救急医療体制の充実」(67.3%)の評価が高い。続いて、「5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実」(62.3%)の評価が高く、これは、せんだい3.11メモリアル交流館の運営などについて、一定の評価がなされたためと考えられる。

「問8 自然と調和した持続可能な都市づくり」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり」(71.7%)、「4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり」(65.5%)「5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成」(63.8%)が高い評価を得ている。これら「杜の都」としてのこれまでのまちづくりや、「WAKE UP (ワケアップ) !!仙台」キャンペーンを展開し、ごみと資源物の分別推進を広く呼び掛けたことが評価されたものと考えられる。

「問9 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり」(82.8%)、「7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり」(73.6%)が、特に評価が高くなっている。これは本市で四季折々に開催される多彩なまつりやイベント、G7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議をはじめとした大規模な国際会議の誘致などが市民の間に広く認知されたためと考えられる。

一方、「9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、企業支援」の“わからない、無回答”の割合が49.3%と高く、引き続き広報活動を含めた施策の充実を図る必要がある。

「問10 暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信」(60.2%)、「5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策」(55.2%)の評価が最も高い。これは、せんだい3.11メモリアル交流館や、平成29年4月に公開を開始した震災遺構仙台市立荒浜小学校の運営などを通じた情報発信や津波避難施設の整備などが評価されたものと考えられる。

「問11 市政や公益活動への市民参加の促進」の“評価する+どちらかといえば評価する”の割合を見ると、「2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進」(47.2%)、「1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進」(40.9%)の順となっている。これは本市の市民協働に向けた取り組みが少しずつ浸透してきたためと考えられるが、「1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進」の“わからない、無回答”の割合は43.6%と高く、引き続き広報活動を含めた施策の充実を図る必要がある。

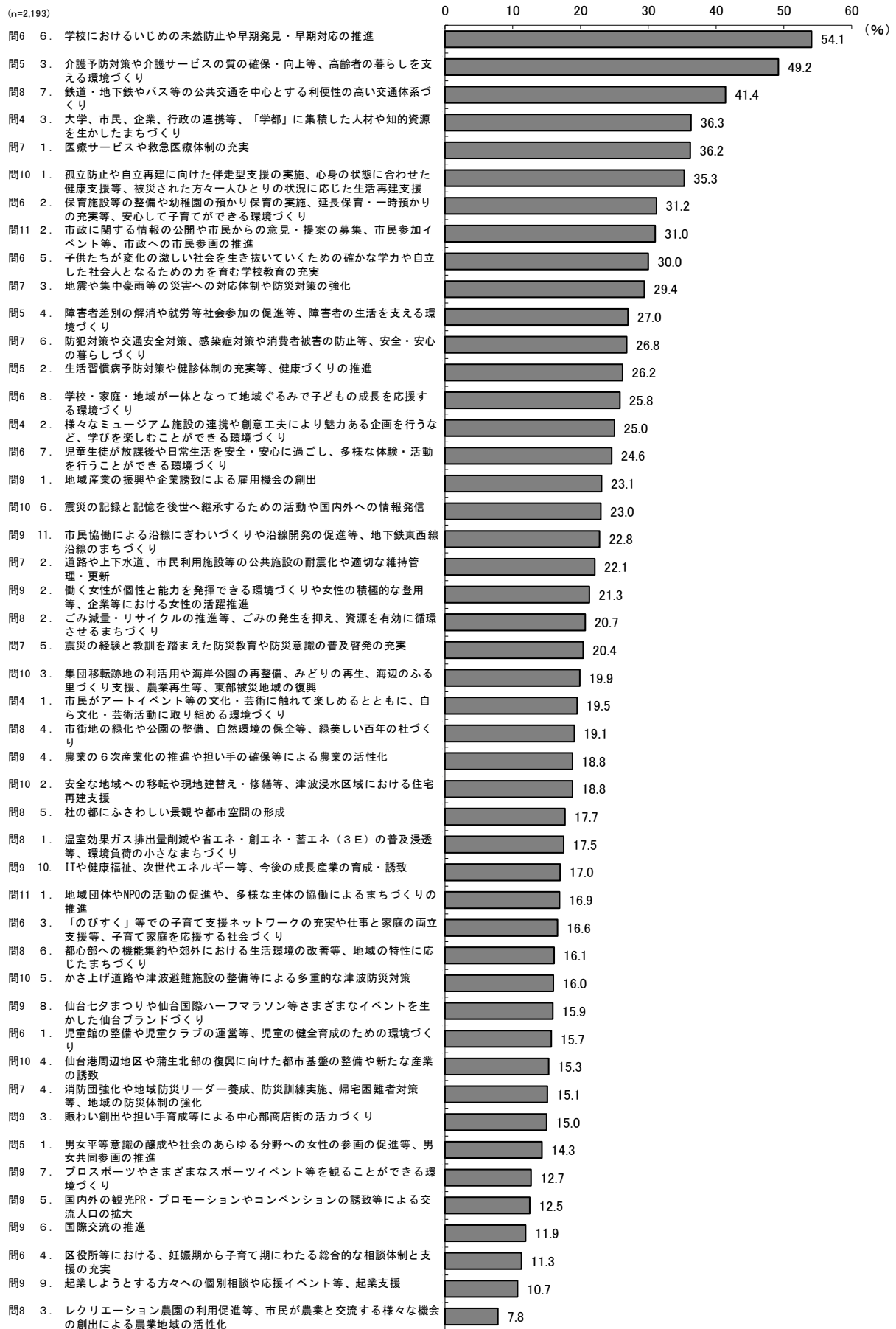
項目別評価の“評価する+どちらかといえば評価する”（上位5項目）

平成 29 年度	
1 位	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり 82.8%
2 位	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり 73.6%
3 位	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり 71.7%
4 位	医療サービスや救急医療体制の充実 67.3%
5 位	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進 65.8%

また、問 4～問 11 の全項目の内、上位 5 項目については、以上のようになっている。

(2) 力をいれるべき施策結果一覧

問4～問11 今後、特に力をいれていくべきと思う施策に○をつけてください。(○は複数可)



今後、特に力をいれていくべきと思う施策（上位5項目の比較）

平成 29 年度	
1位	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進 54.1%
2位	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり 49.2%
3位	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり 41.4%
4位	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり 36.3%
5位	医療サービスや救急医療体制の充実 36.2%

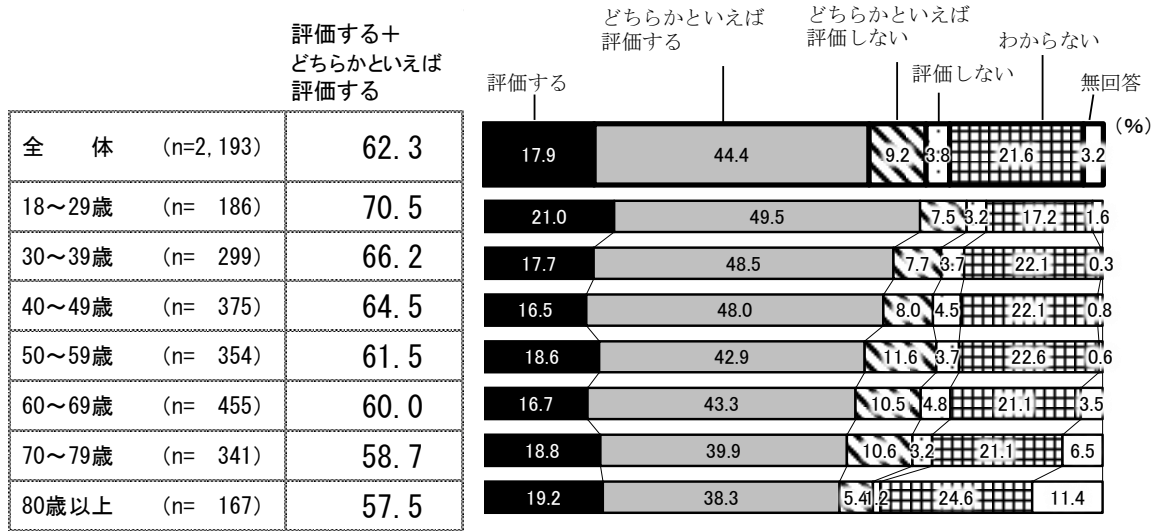
「今後、特に力をいれていくべきと思う施策」については、「問6 6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」（54.1%）が最も多く、いじめ防止に万全を期すことが求められている。

次いで、「問5 3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」（49.2%）、「問8 7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」（41.4%）、5位の「問7 1. 医療サービスや救急医療体制の充実」（36.2%）と高いことについては、日常の市民生活の利便性の向上や安全・安心の確保に向けての基本的な施策として、さらなる充実が求められているものと考えられる。

また、4位の「問4 3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」（36.2%）については、震災後を見据えたイノベーションなど、新たなまちづくりが求められているものと考えられる。

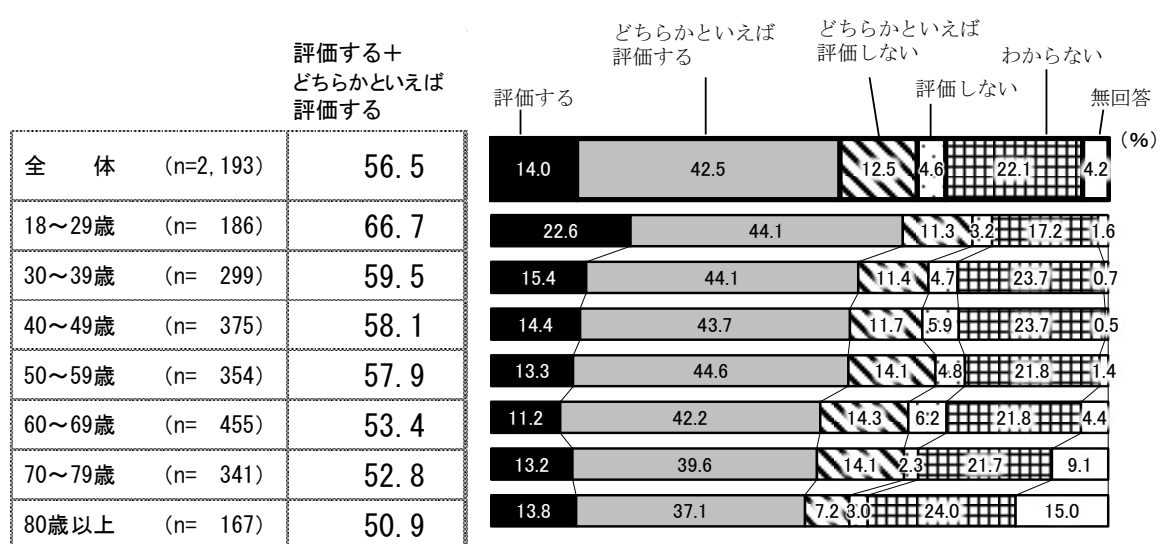
(3) 設問別・属性別結果

問4 1. 市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり



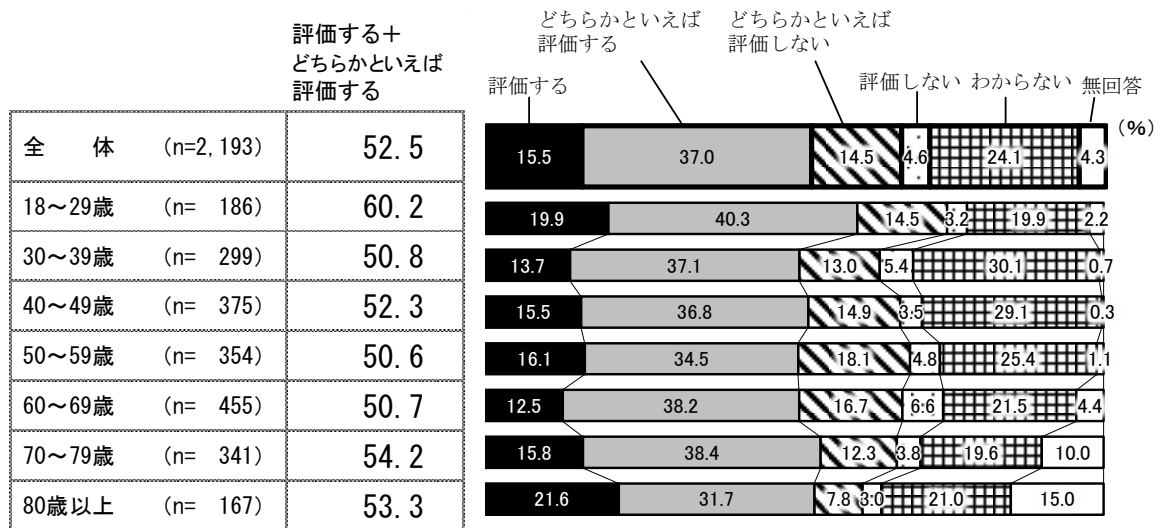
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が62.3%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、年齢層が下がるほど高くなっており、18~29歳では7割を超えている。

問4 2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり



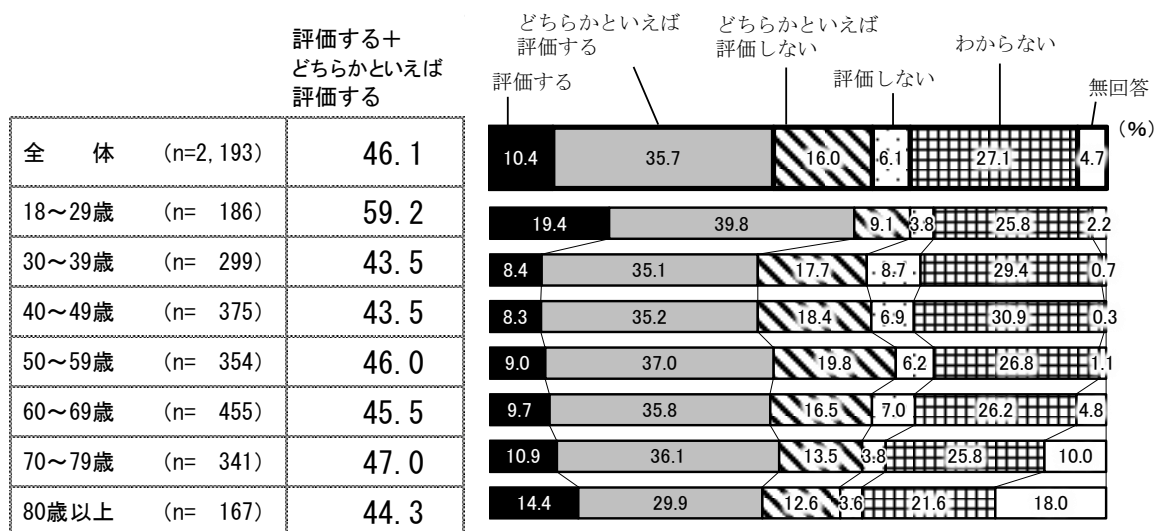
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が56.5%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、年齢層が下がるほど高くなっており、18~29歳では6割を超えている。

問4 3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり



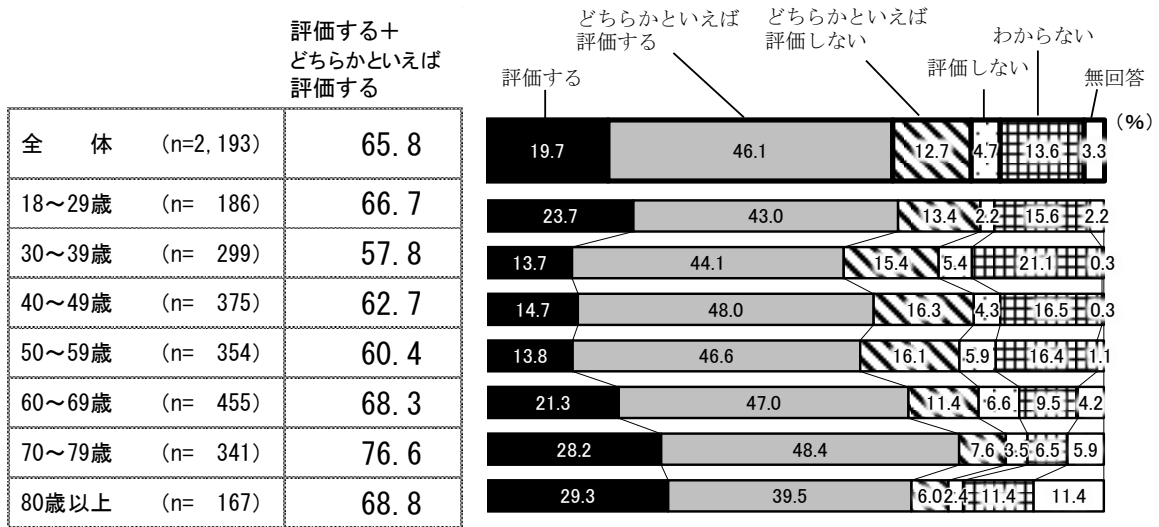
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が52.5%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が若年層及び高齢層で高く、特に18～29歳で高く6割を超えている。

問5 1. 男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進



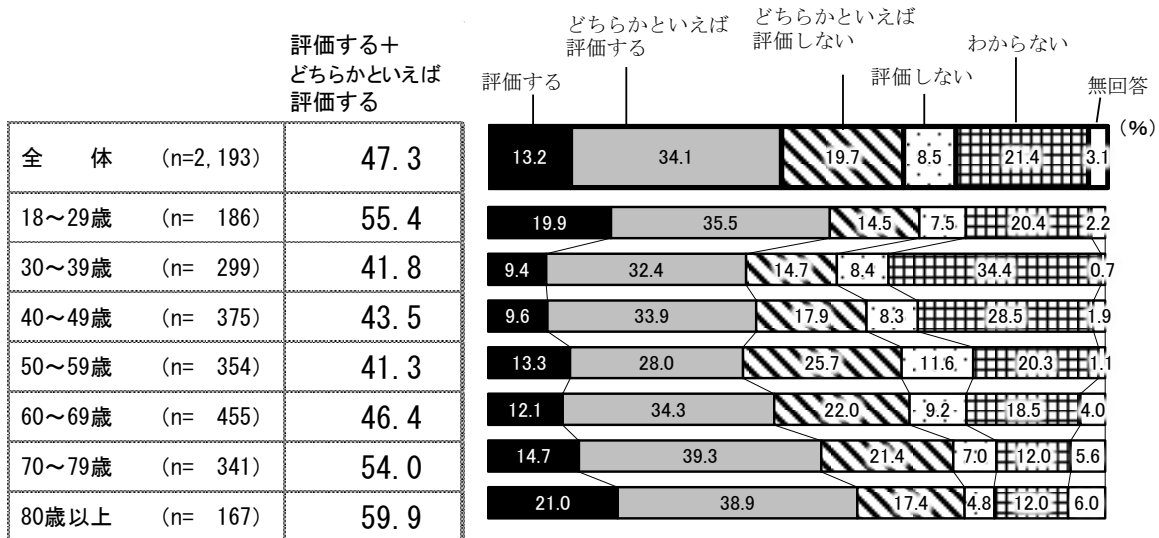
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が46.1%と高めとなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が18～29歳で6割近くと他の年齢層より高くなっている。

問5 2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進



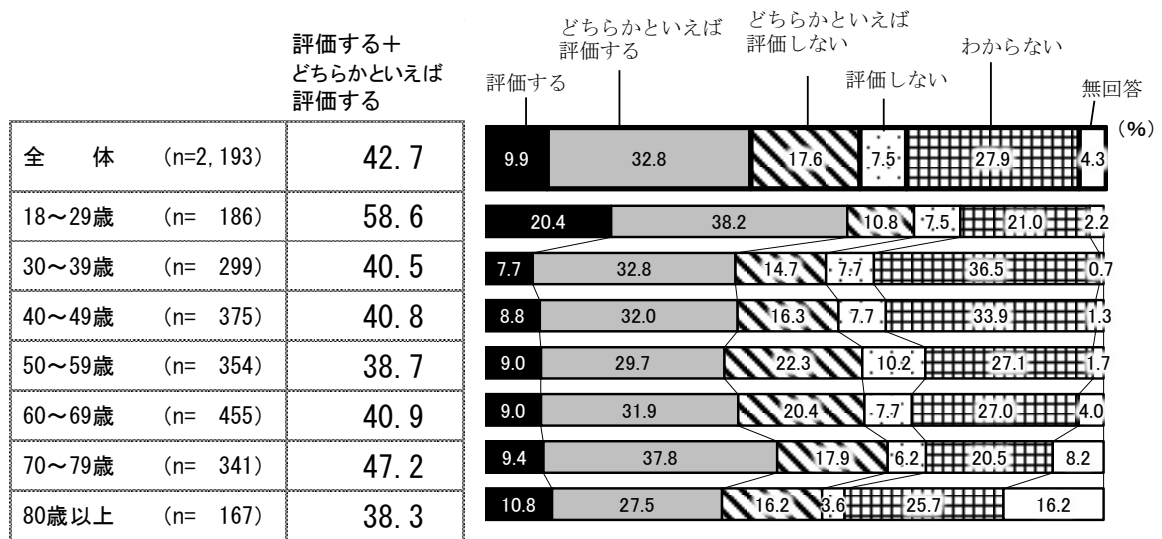
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が65.8%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、70歳代で7割を超え他の年齢層より高くなっている。

問5 3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり



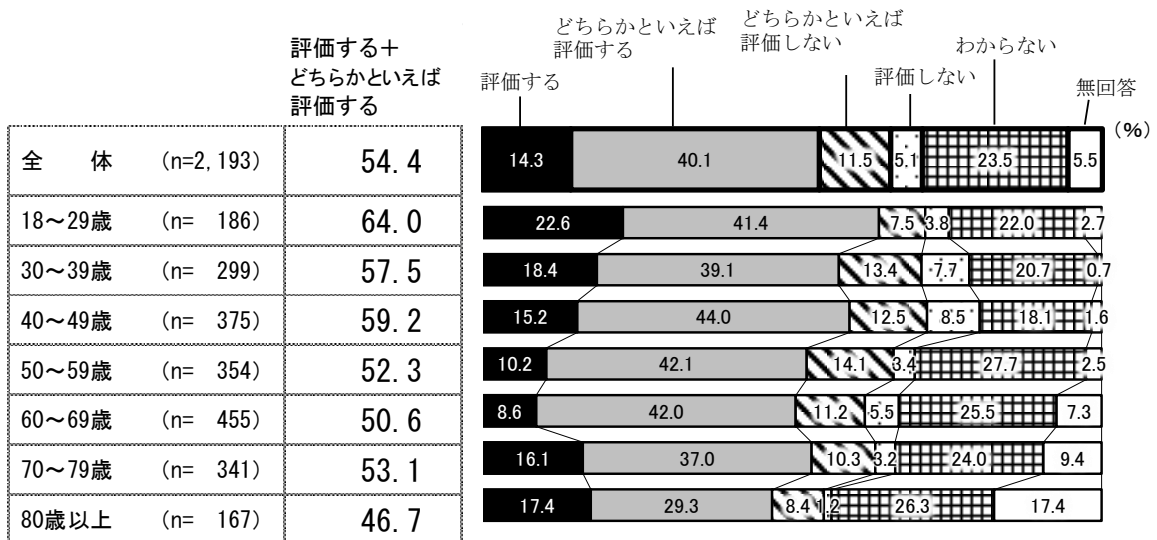
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が47.3%と高めとなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、若年層及び高齢層で高く、80歳以上では6割近くとなっている。

問5 4. 障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり



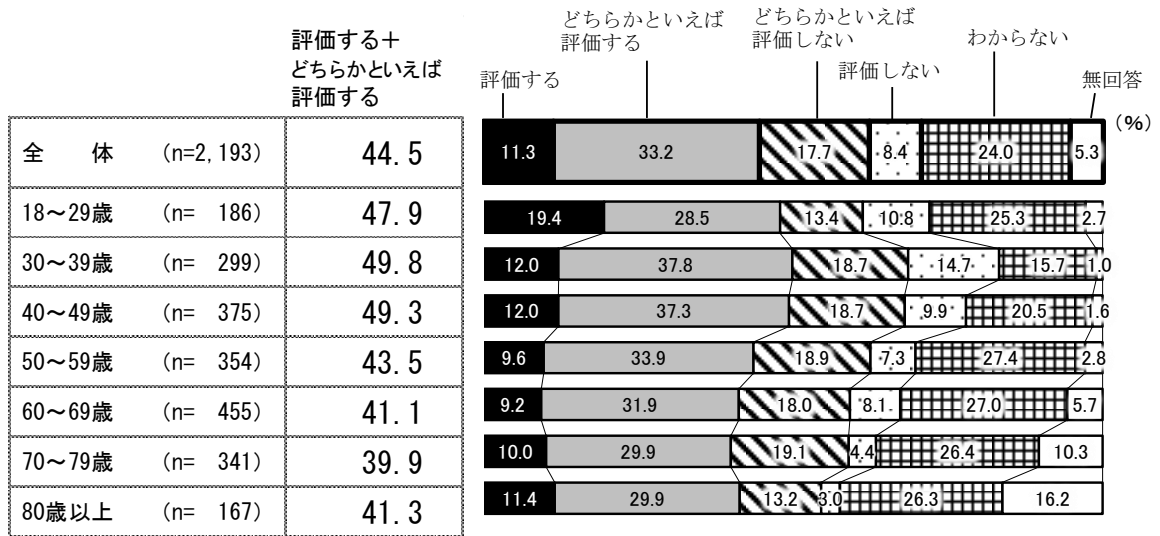
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が42.7%と高めとなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、18~29歳で6割近くと他の年齢層と比べ高くなっている。

問6 1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり



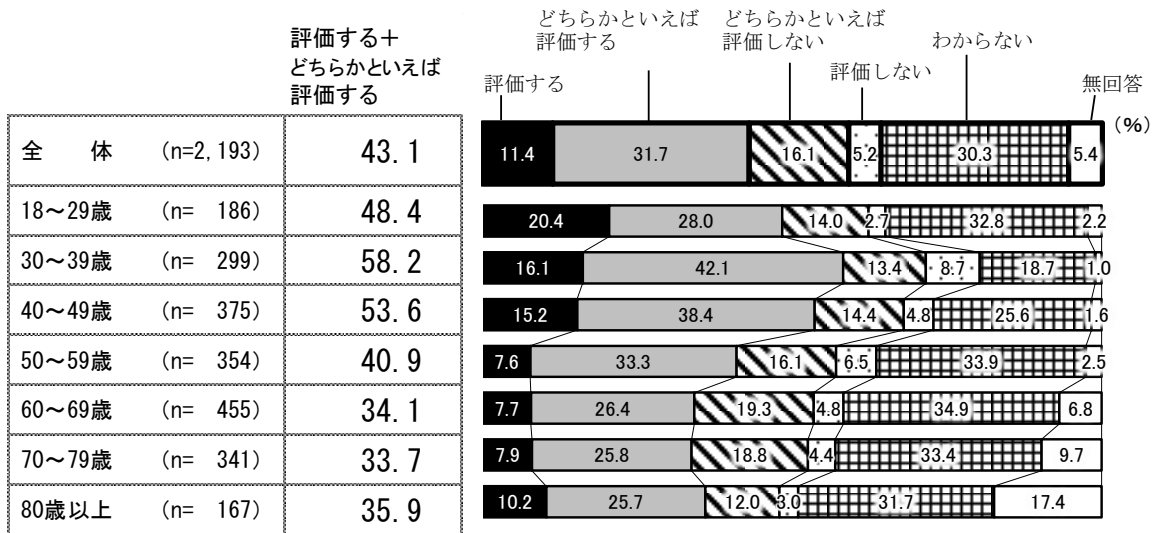
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が54.4%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は概ね年齢層が下がるほど高く18~29歳で6割を超え他の年代より高くなっている。

問6 2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり



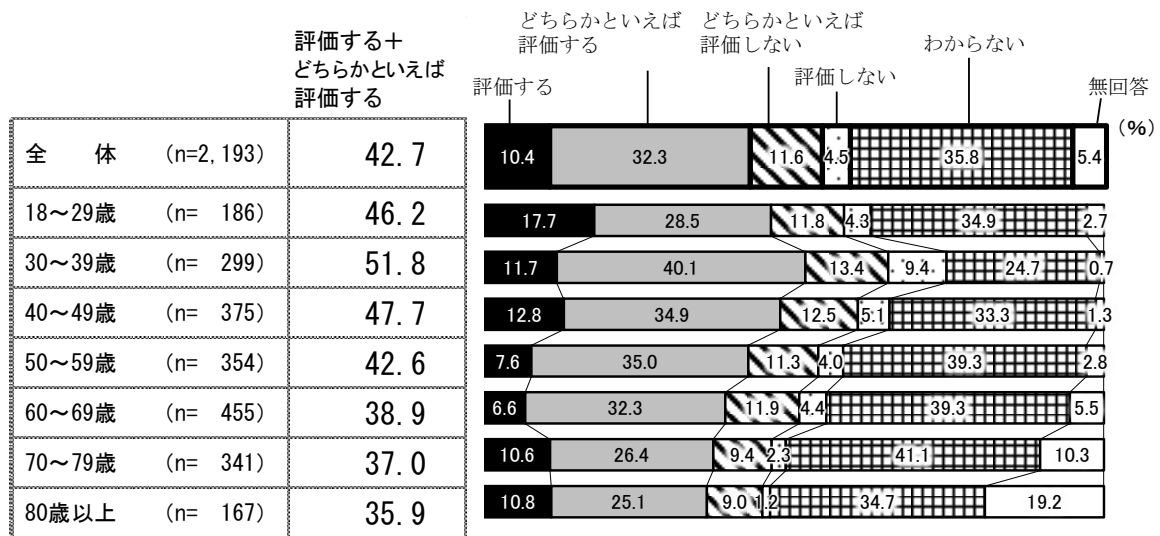
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が44.5%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は概ね年齢層が下がるほど高くなっており50歳未満では5割近くとなっている。

問6 3. 「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が43.1%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が若年層で高い傾向が見られる。
 一方、“わからない+無回答”の割合が80歳以上で高く、5割近くに達している。

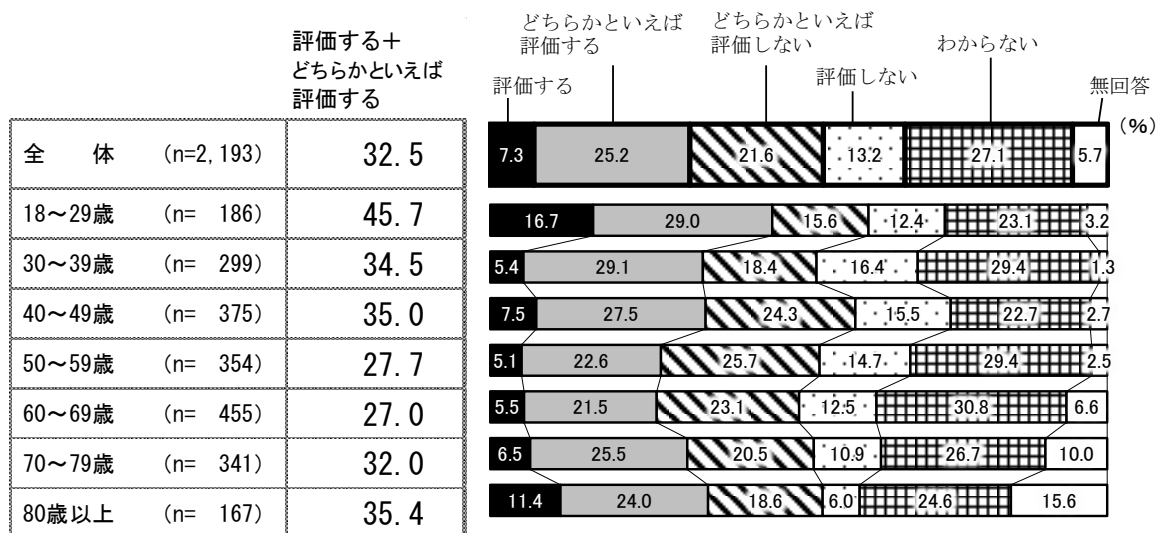
問6 4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が42.7%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は概ね年齢層が下がるほど高く、30歳代で5割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が70歳以上で高く、5割を超えている。

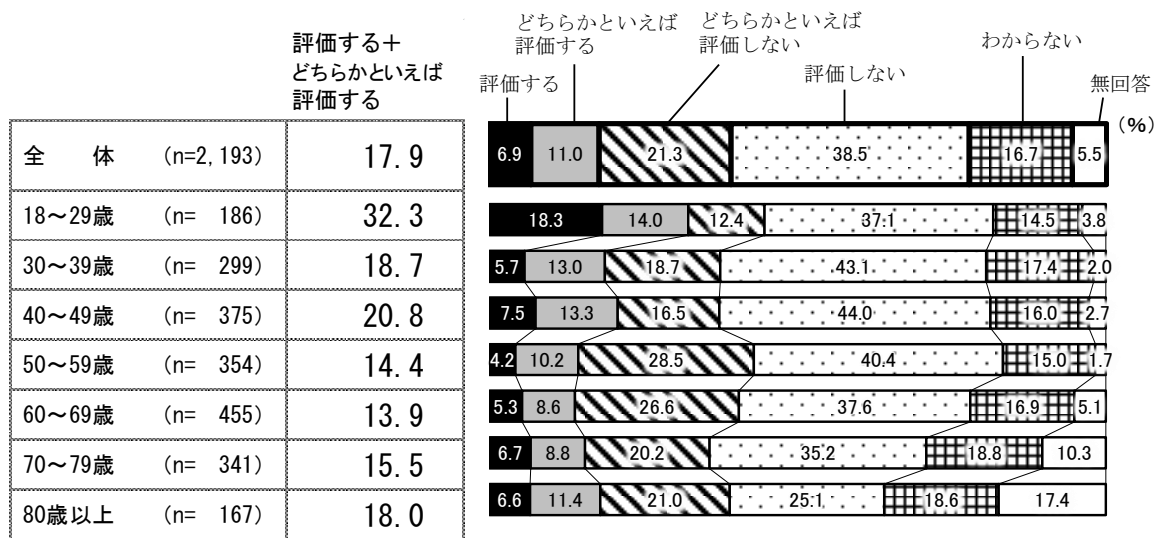
問6 5. 子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が32.5%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(34.8%)を若干下回っている。また、“わからない+無回答”の割合が32.8%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、18~29歳代で高くなっている。

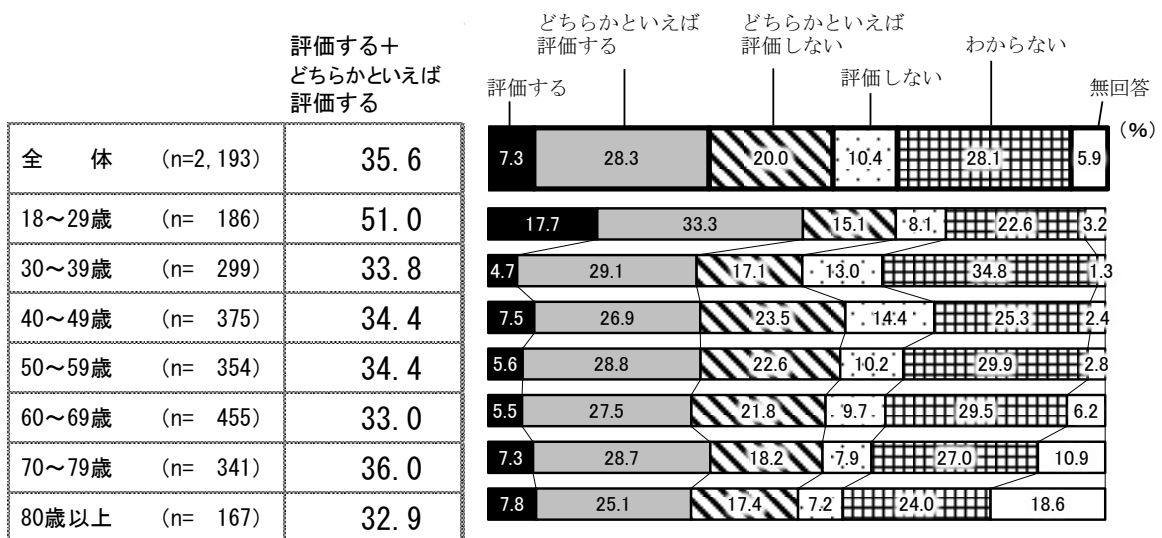
問6 6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が17.9%にとどまっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(59.8%)を大幅に下回っている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、18~29歳で他の年齢層より高くなっている。

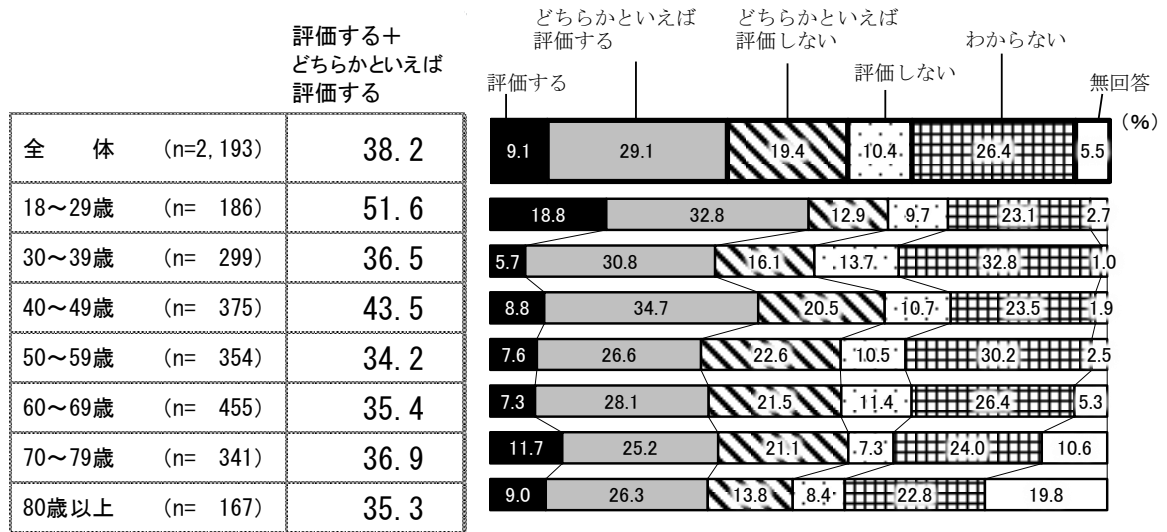
問6 7. 児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が35.6%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(30.4%)を若干上回っている。また、“わからない+無回答”の割合が34.0%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、18~29歳で5割を超え、他の年齢層より高くなっている。

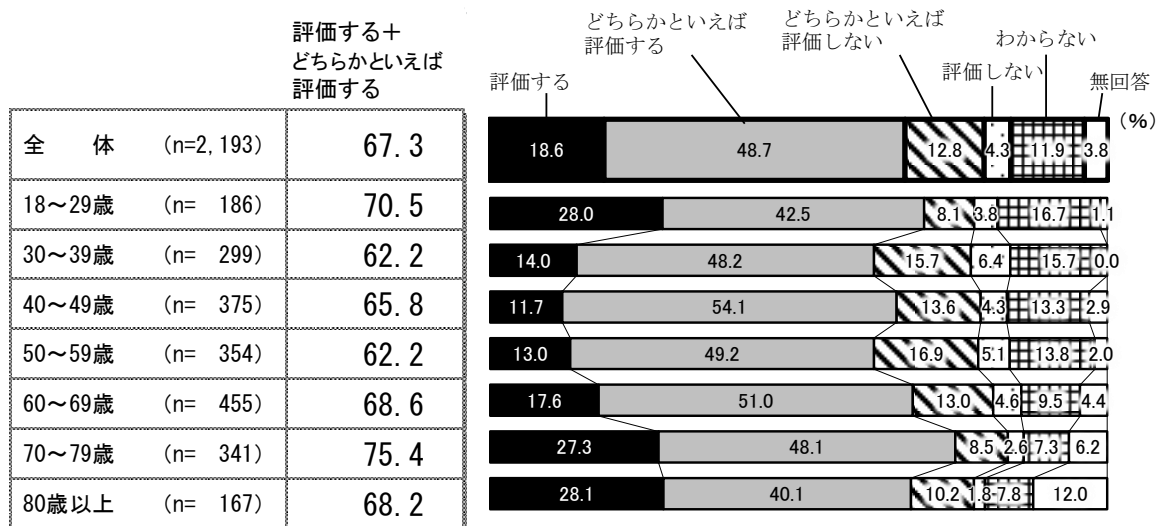
問6 8. 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が38.2%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(29.8%)を上回っている。また、“わからない+無回答”の割合が31.9%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が18~29歳、40歳代で高くなっている。

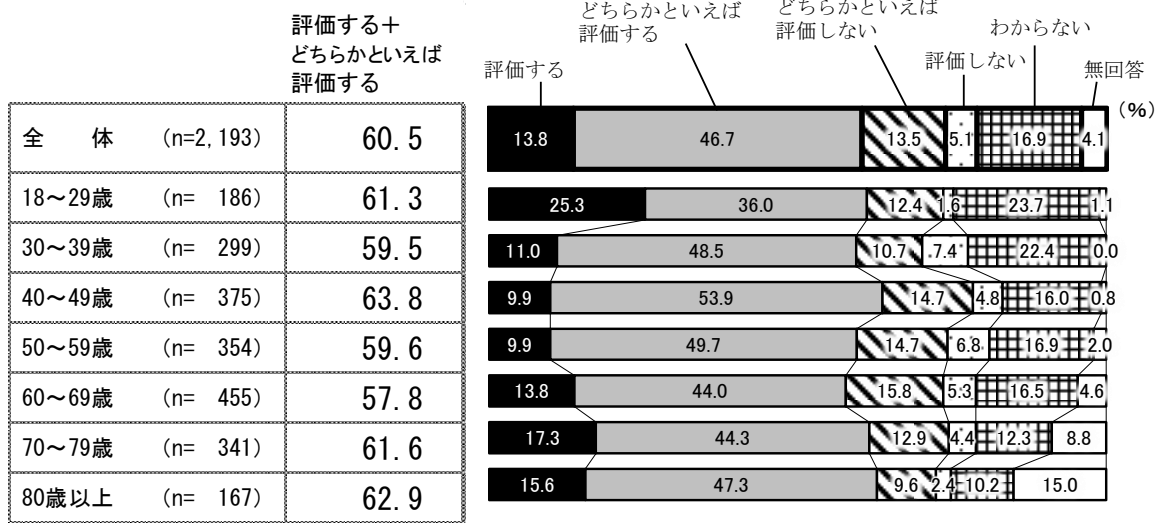
問7 1. 医療サービスや救急医療体制の充実



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が67.3%と非常に高くなっている。

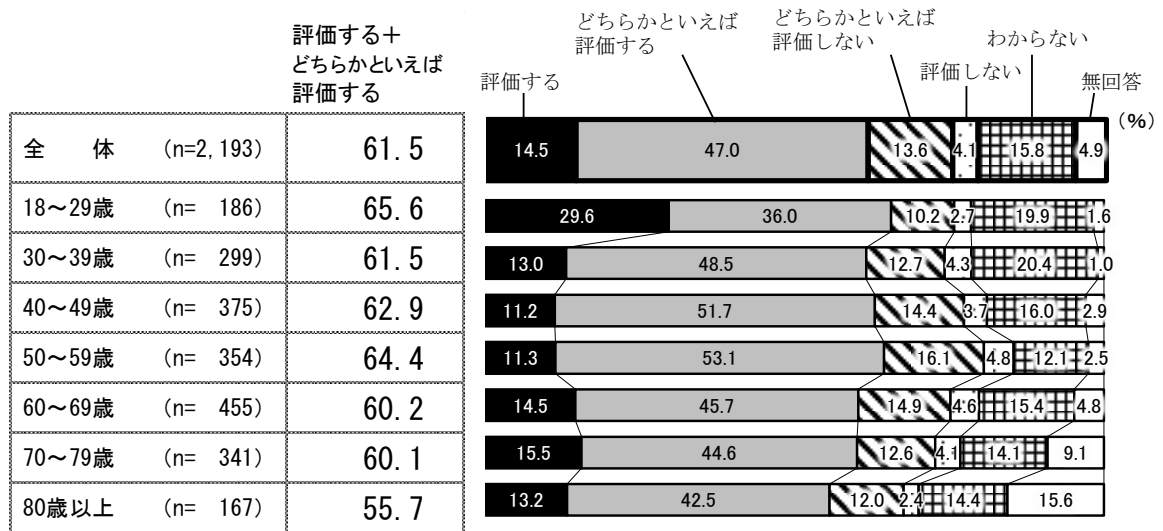
年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、70歳代で7割を超え、他の年齢層より高くなっている。

問7 2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新



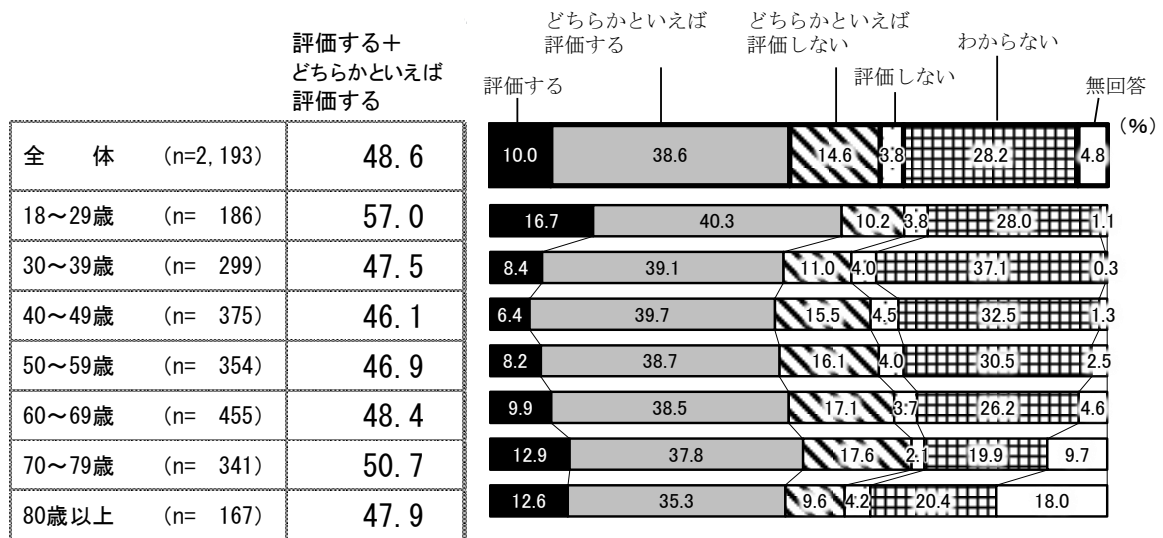
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が60.5%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合に大きな違いは見られないが、“評価する”の割合は18~29歳で25.3%と他の年齢層より高くなっている。

問7 3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化



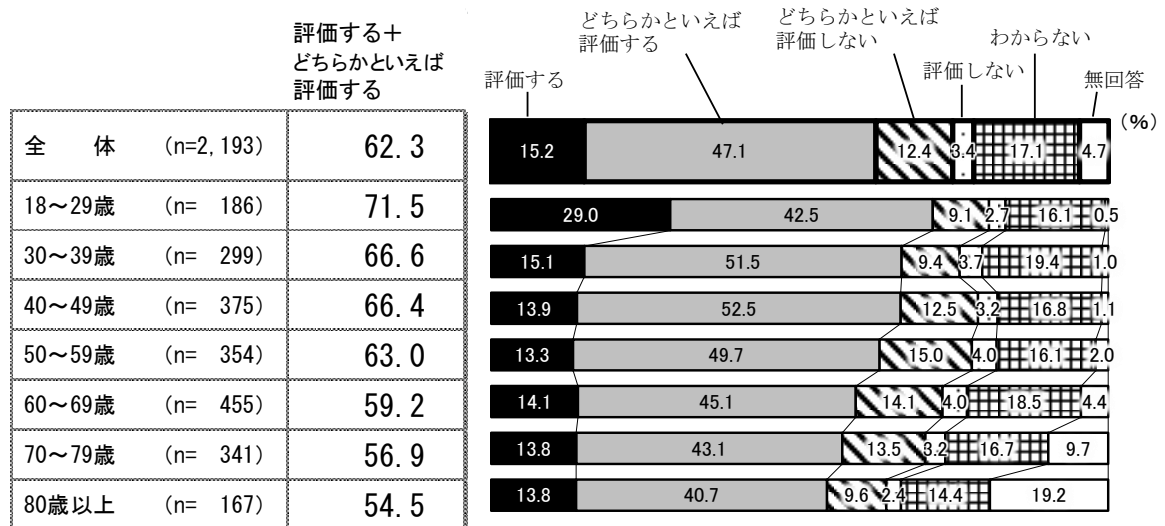
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が61.5%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなる傾向が見られる。

問7 4. 消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化



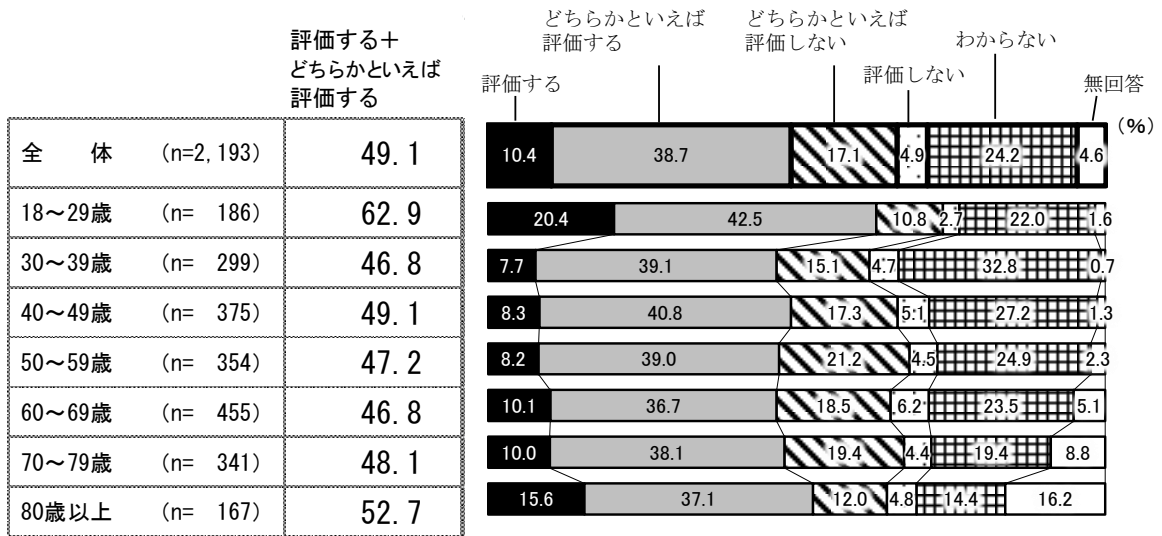
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が48.6%と高めとなっている。
 年齢層別では、18~29歳で“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が他の年齢層より高くなっている。一方、“わからない+無回答”の割合が、30~39歳及び80歳以上で高くなっている。

問7 5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実



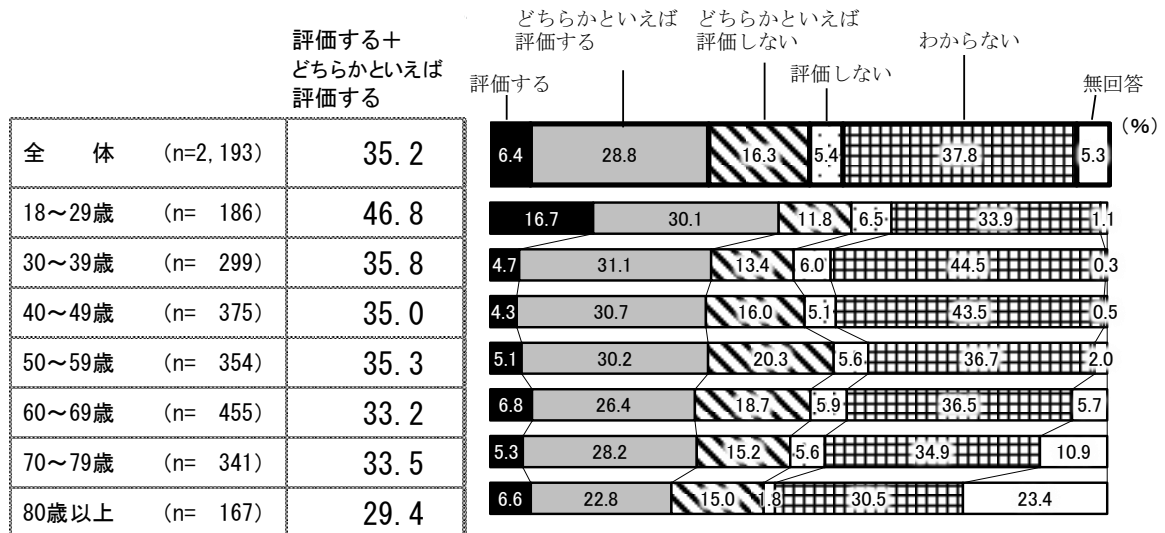
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が62.3%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、概ね年齢層が下がるほど高くなり、18~29歳では7割を超えている。

問7 6. 防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が49.1%と高めとなっている。年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、18~29歳で6割を超え他の年齢層より高くなっている。

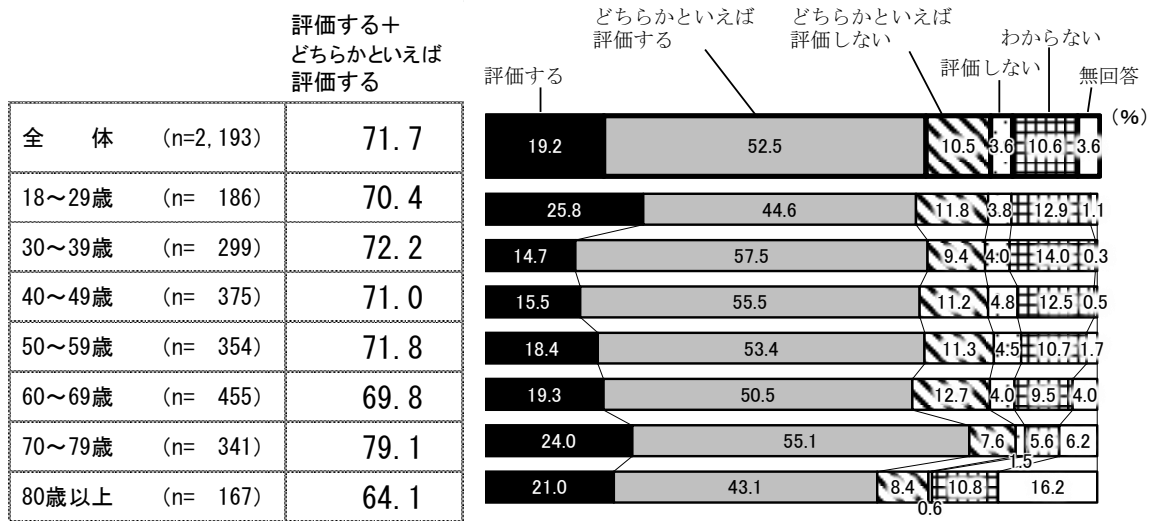
問8 1. 温室効果ガス排出量削減や省エネ・創エネ・蓄エネ（3E）の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が35.2%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(21.7%)を上回っている。また、“わからない+無回答”の割合が43.1%と非常に高くなっている。

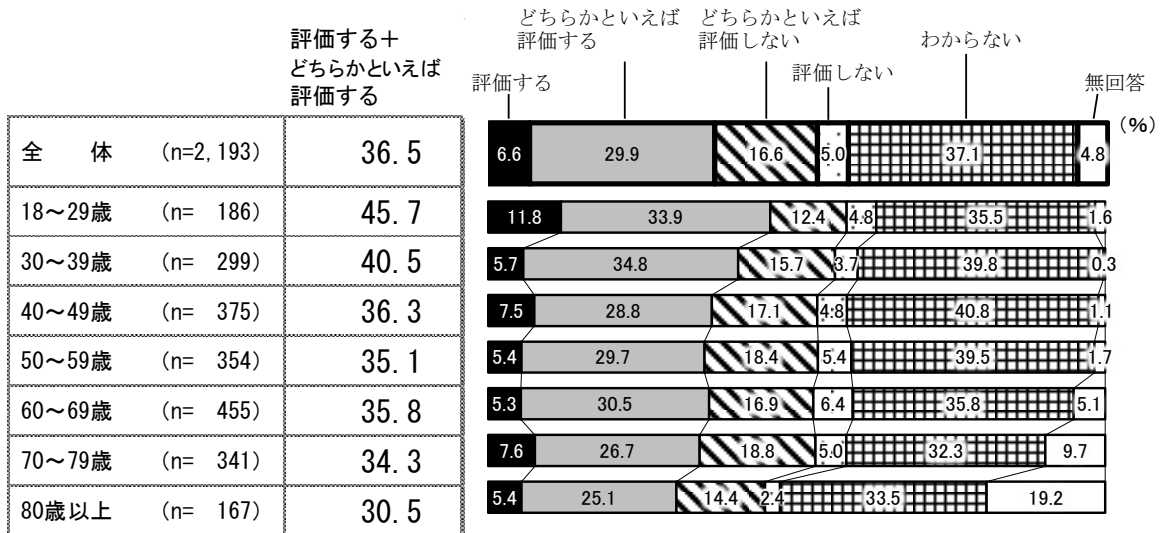
年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が18~29歳で4割を超え、他の年齢層より高くなっている。

問 8 2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が71.7%と非常に高くなっている。年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、70歳代で他の年齢層よりも高く、8割近くに達している。

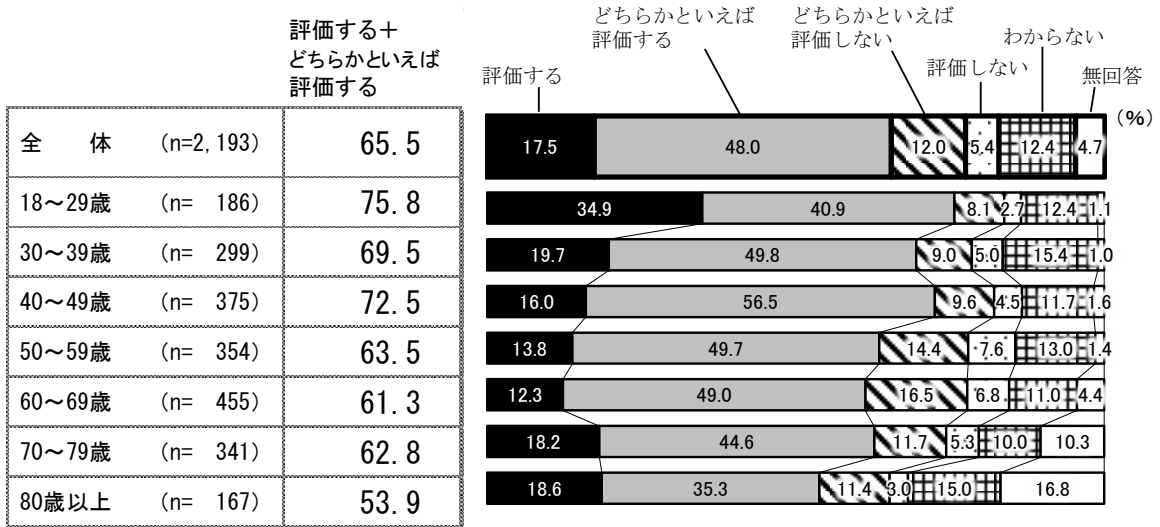
問 8 3. レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が36.5%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(21.6%)を上回っている。また、“わからない+無回答”の割合が41.9%と非常に高くなっている。

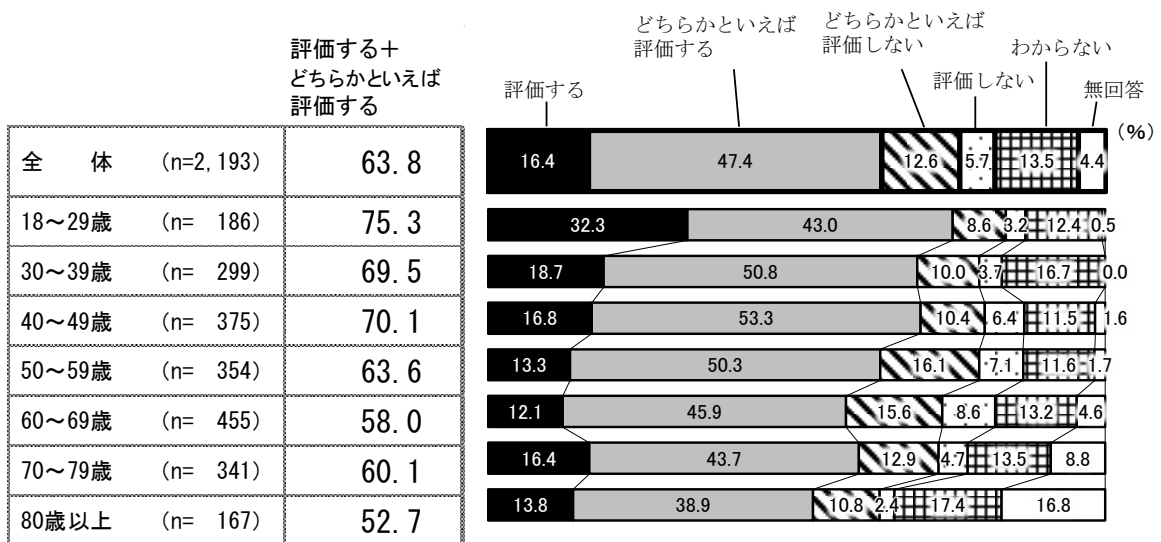
年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなる傾向が見られる。

問 8 4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり



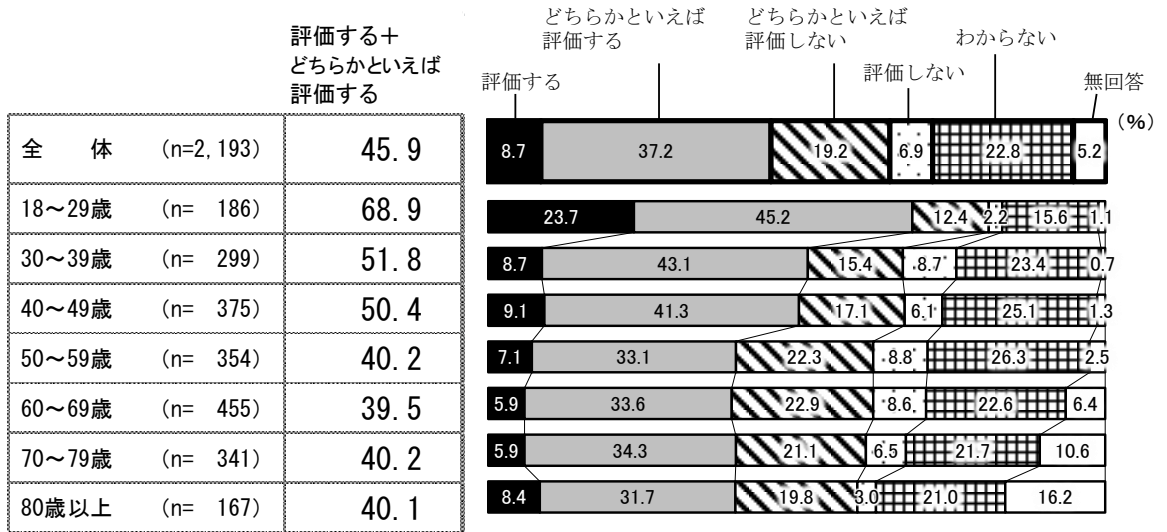
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が65.5%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなる傾向があり、18~29歳、40歳代で7割を超えている。

問 8 5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成



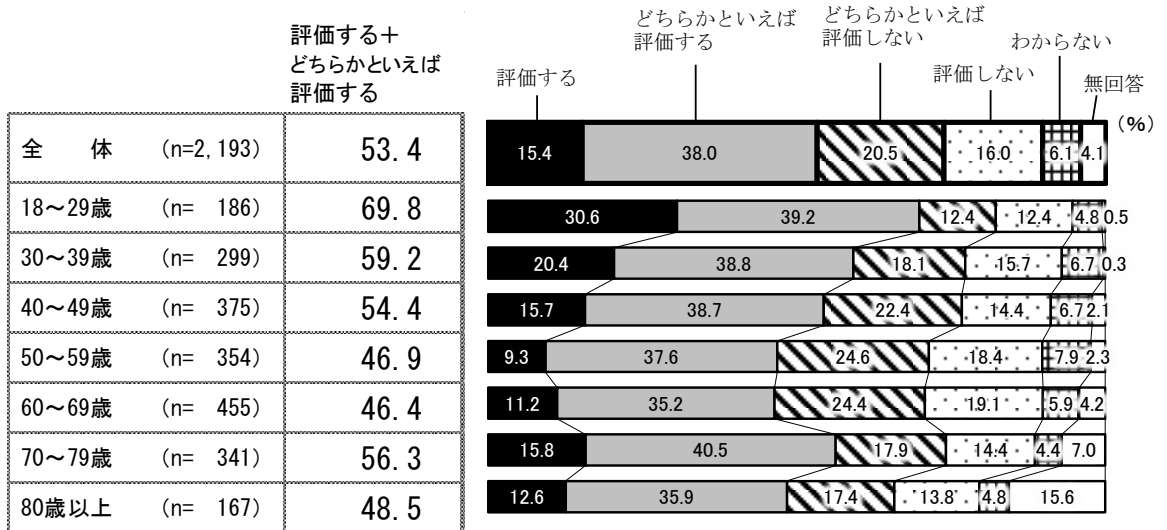
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が63.8%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなっており、50歳未満では7割程度となっている。

問 8 6. 都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり



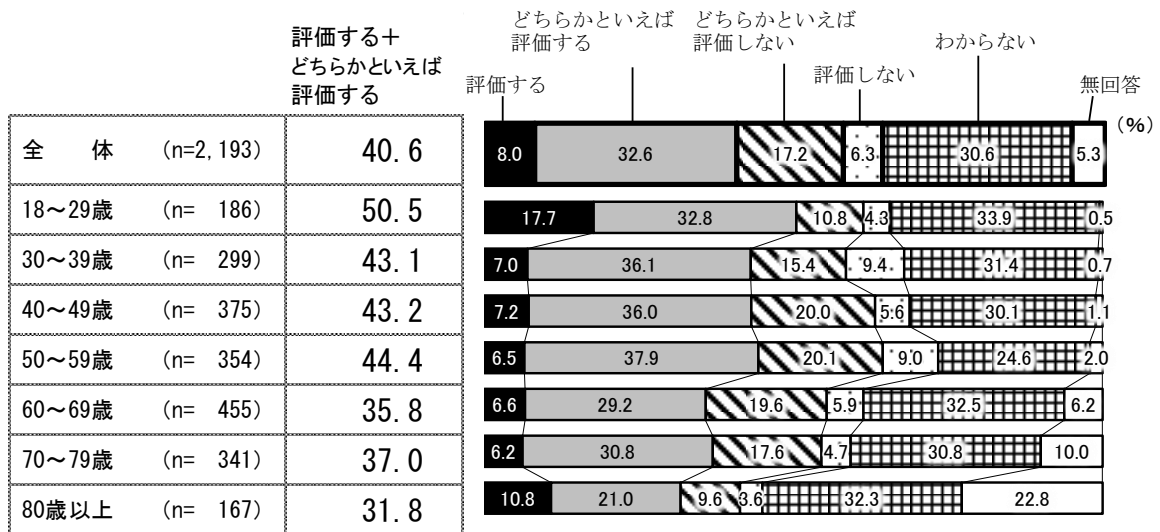
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が45.9%と高めている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、50歳未満で高くなっており、特に18~29歳では7割近くに達している。

問 8 7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が53.4%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が40歳未満で、他の年齢層より高くなっている。

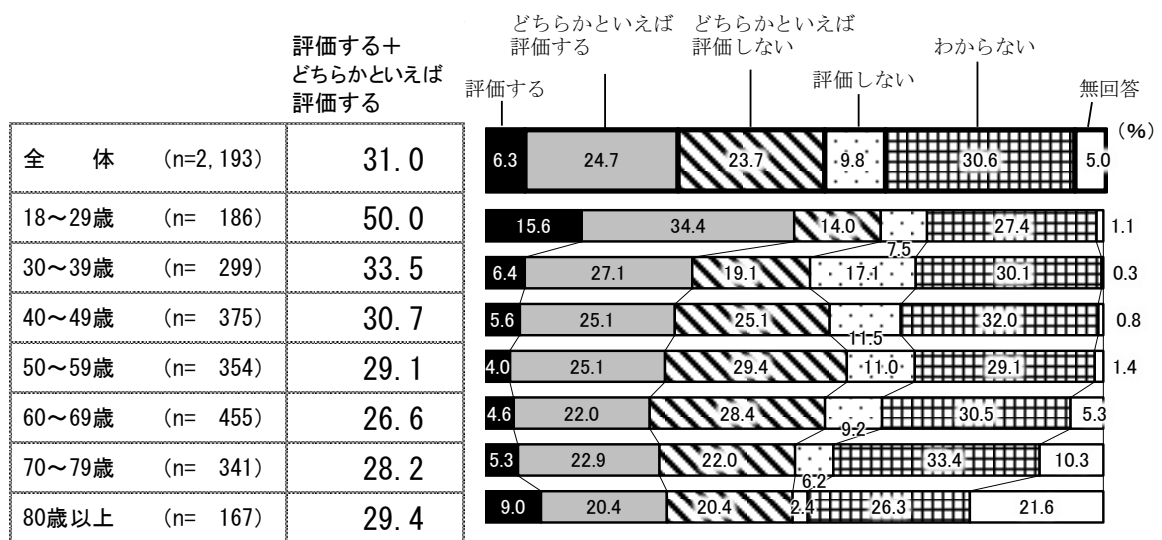
問9 1. 地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が40.6%と高めとなっている。また、“わからない+無回答”の割合が35.9%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなっており、18~29歳では5割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、80歳以上で5割を超え高くなっている。

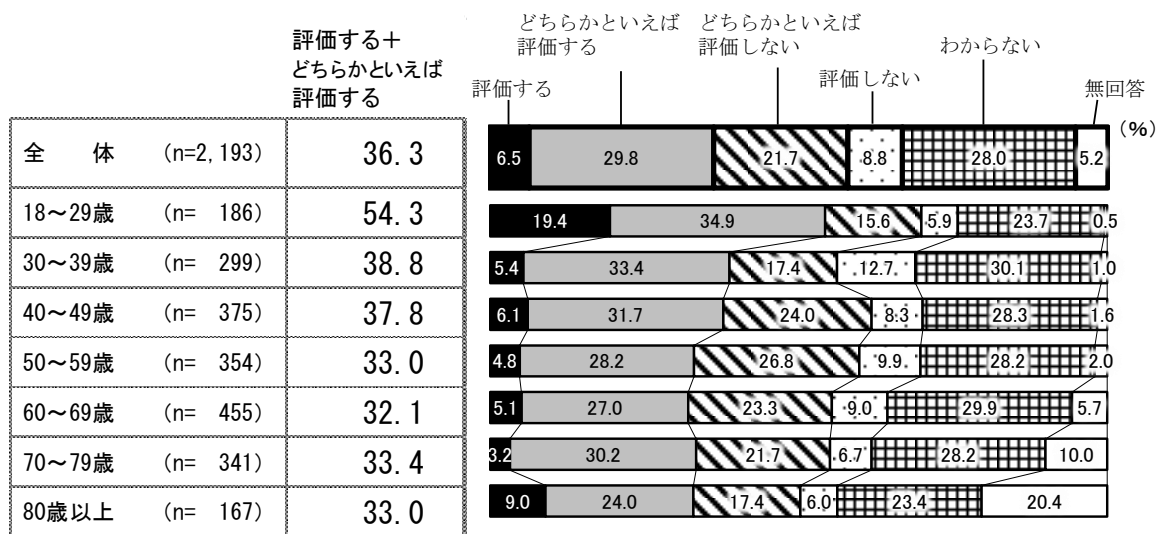
問9 2. 働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用等、企業等における女性の活躍推進



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が31.0%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(33.5%)を下回っている。また、“わからない+無回答”の割合が35.6%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、18~29歳で他の年齢層より高く5割となっている。

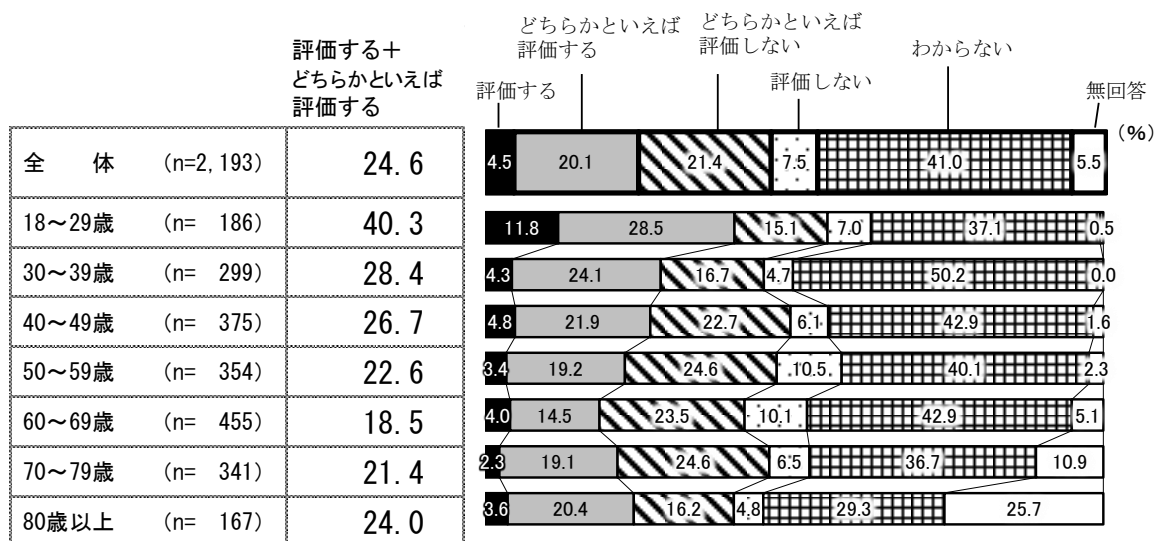
問9 3. 賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活気づくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が36.3%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(30.5%)を上回っている。また、“わからない+無回答”の割合が33.2%と高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、若年層ほど高く、18~29歳では5割を超えている。

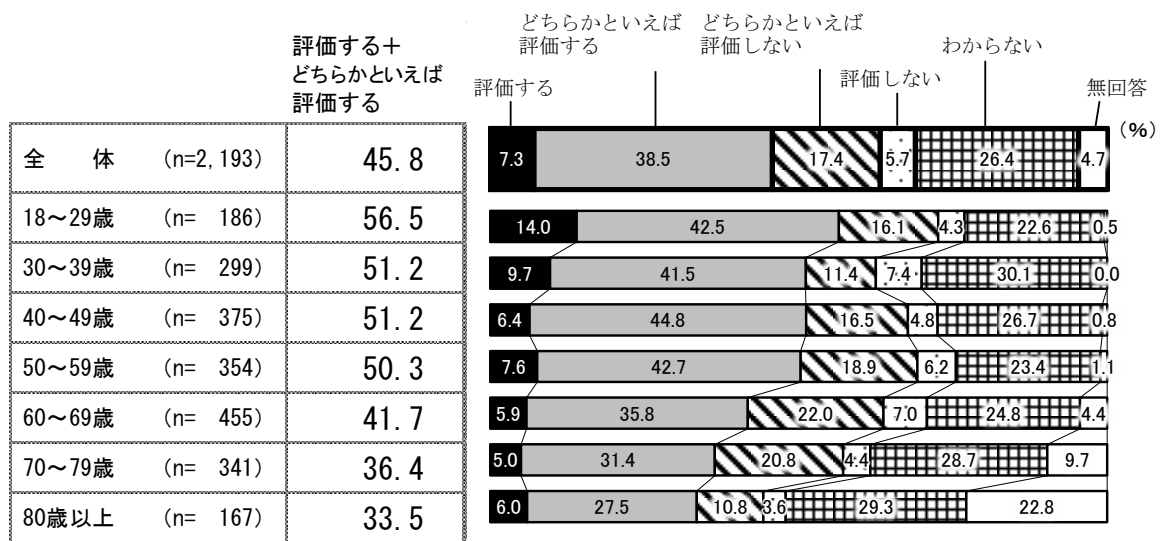
問9 4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が24.6%にとどまっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(28.9%)を下回っている。一方、“わからない+無回答”の割合が46.5%と非常に高くなっている。

年齢層別では、18~29歳で“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、他の年齢層より高くなっている。一方、“わからない+無回答”の割合が、30~39歳、80歳以上で5割を超え高くなっている。

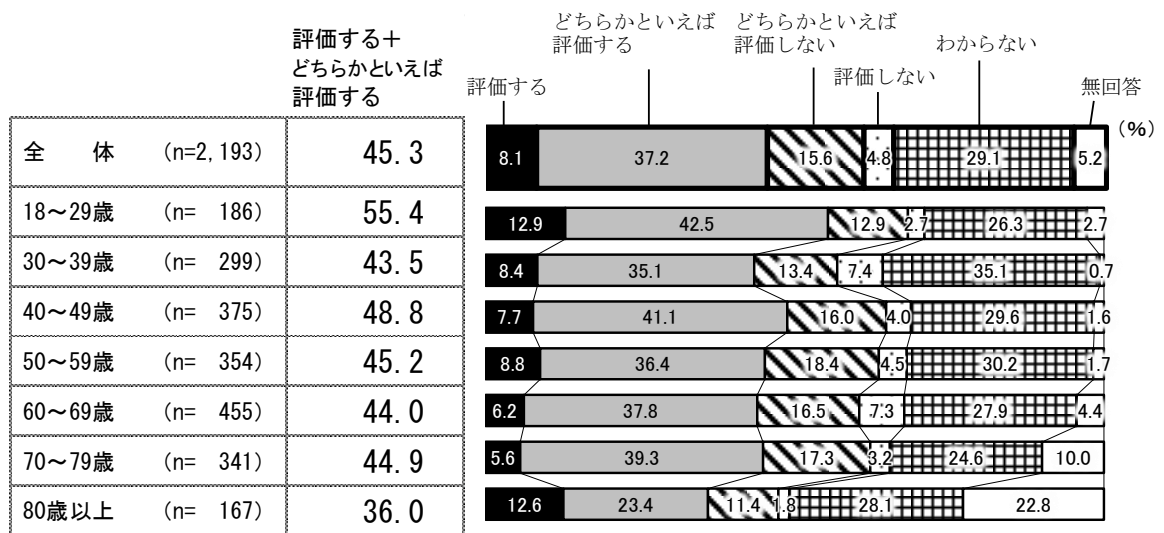
問9 5. 国内外の観光PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が45.8%と高めとなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、年齢層が下がるほど高くなっており、60歳未満では5割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、80歳以上で5割を超え高くなっている。

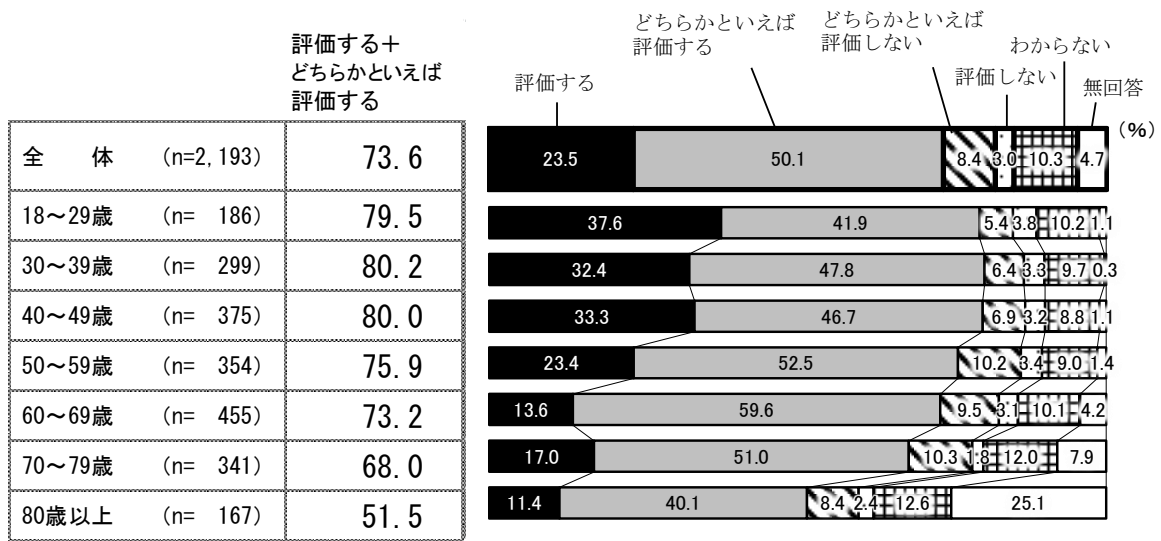
問9 6. 国際交流の推進



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が45.3%と高めとなっている。

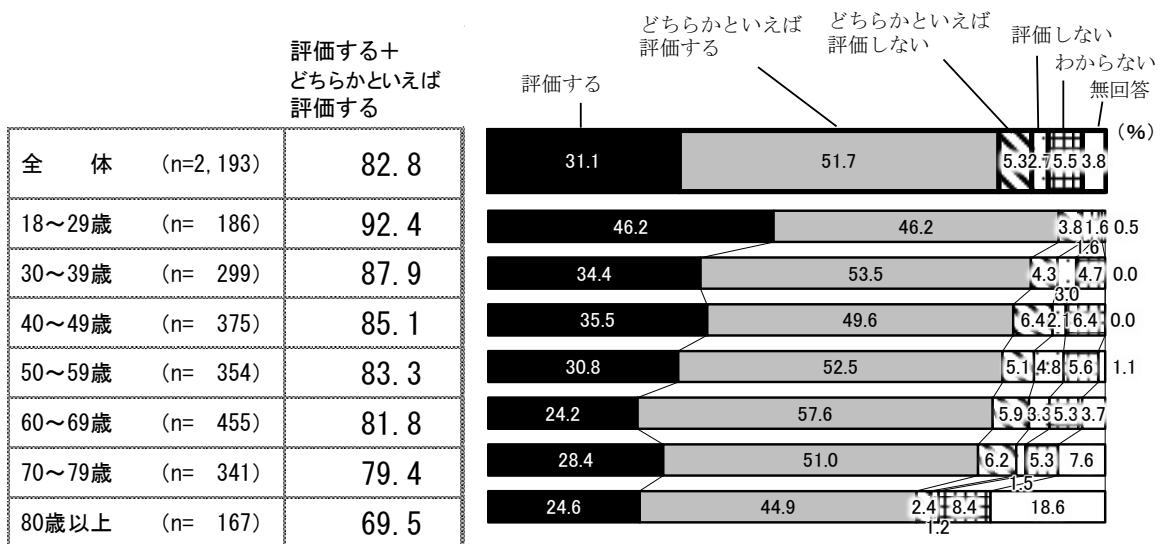
年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなっており、18~29歳では5割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、80歳以上で5割を超え高くなっている。

問9 7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり



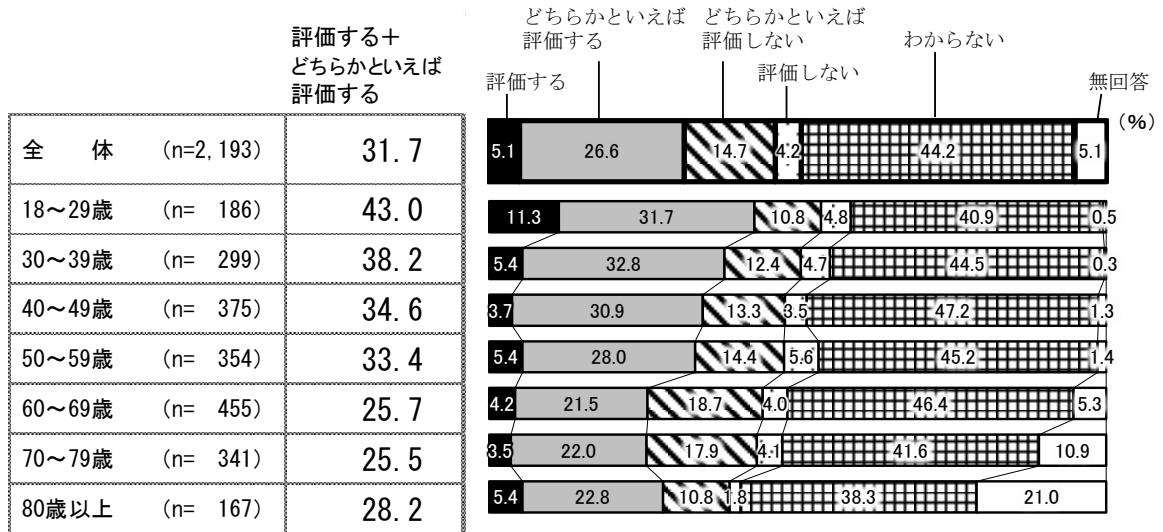
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が73.6%と非常に高くなっている。年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高く、50歳未満では8割程度となっている。

問9 8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が82.8%とかなり高くなっている。年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、年齢層が下がるほど高く、18~29歳では9割を超えている。

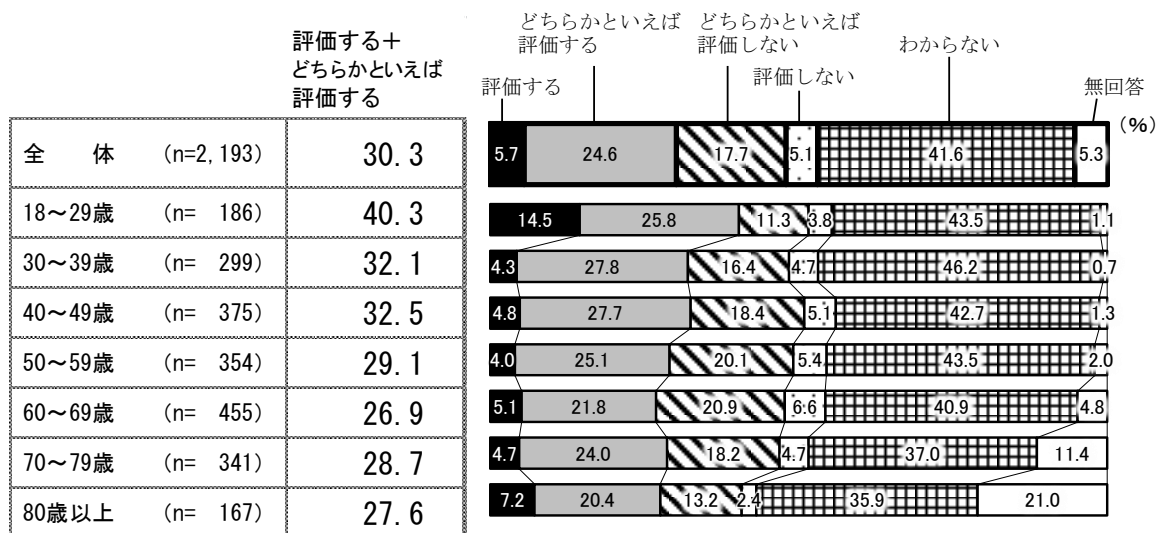
問9 9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が31.7%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(18.9%)を上回っている。一方、“わからない+無回答”の割合が49.3%と非常に高くなっている。

年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、年齢層が下がるほど高く、18~29歳で4割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、60歳以上で5割を超えている。

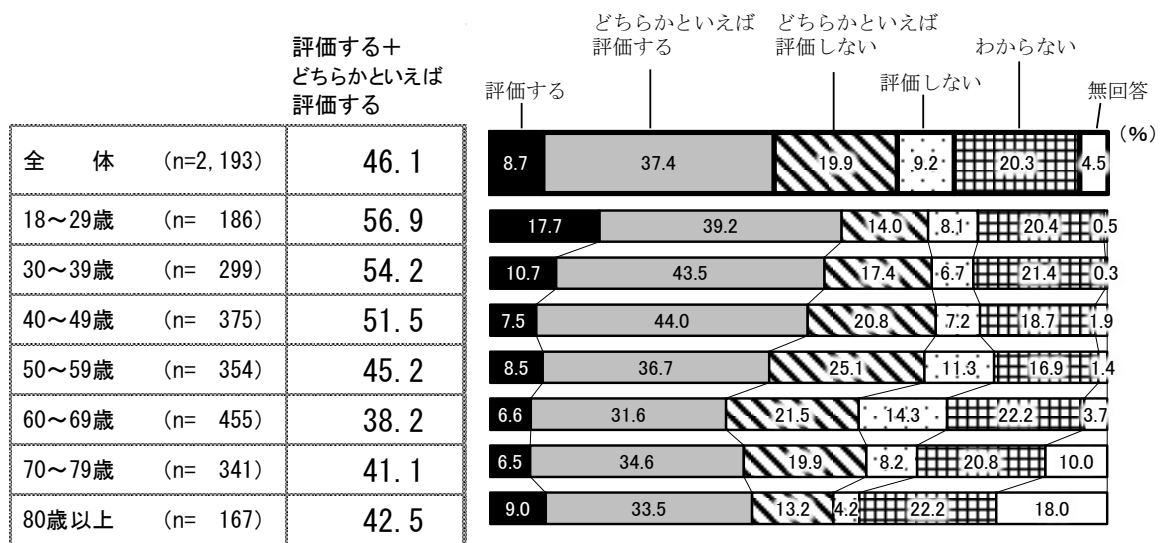
問9 10. ITや健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が30.3%となっており、“評価しない+どちらかといえば評価しない”(22.8%)を上回っている。一方、“わからない+無回答”の割合が46.9%と高くなっている。

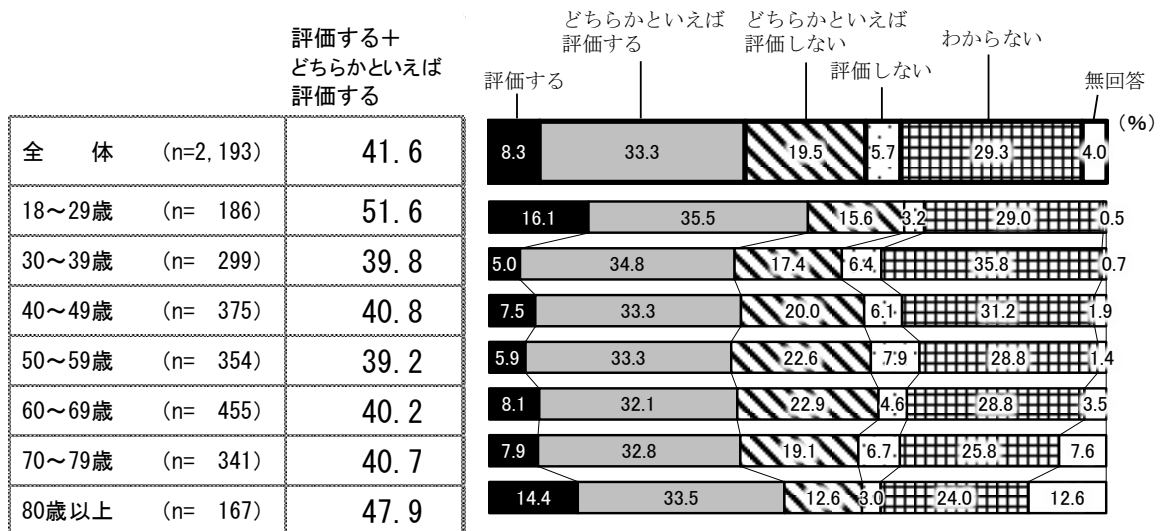
年齢層別では、若年層で“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が高く、特に18~29歳では4割となっている。

問9 11. 市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり



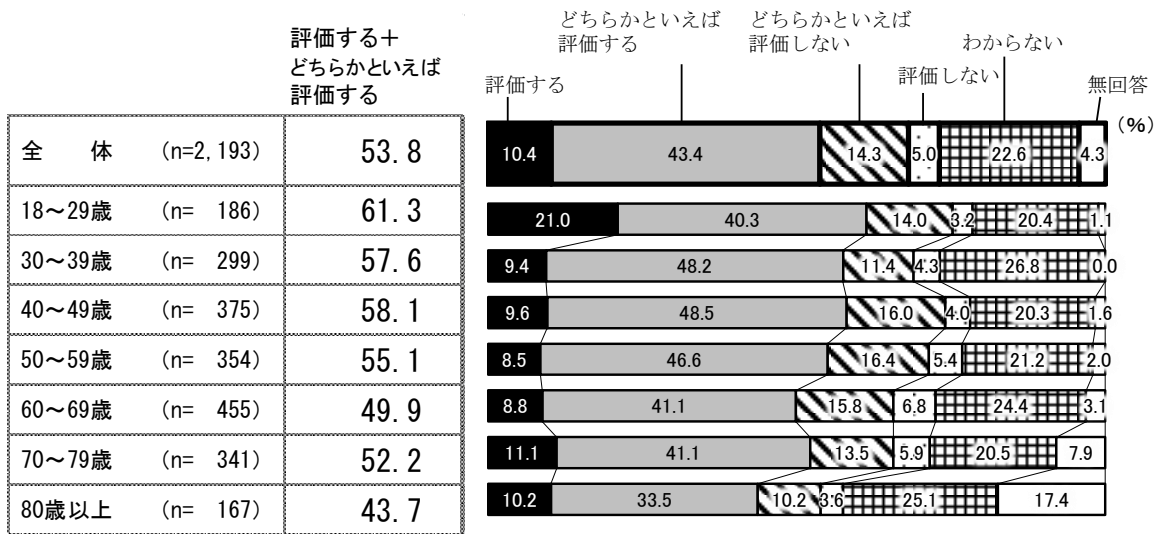
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が46.1%と高めとなっている。年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が若年層で高く、50歳未満で5割を超えている。

問10 1. 孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心身の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援



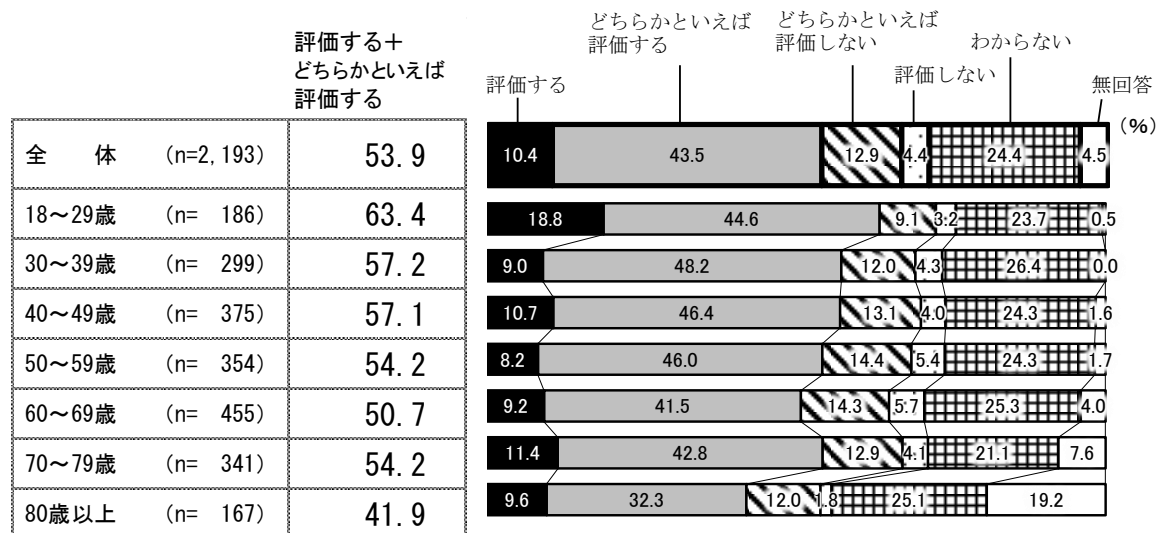
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が41.6%と高めとなっている。一方、“わからない+無回答”の割合が33.3%と高くなっている。年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、若年層及び高齢層で高く、特に18~29歳では5割を超えている。

問 10 2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援



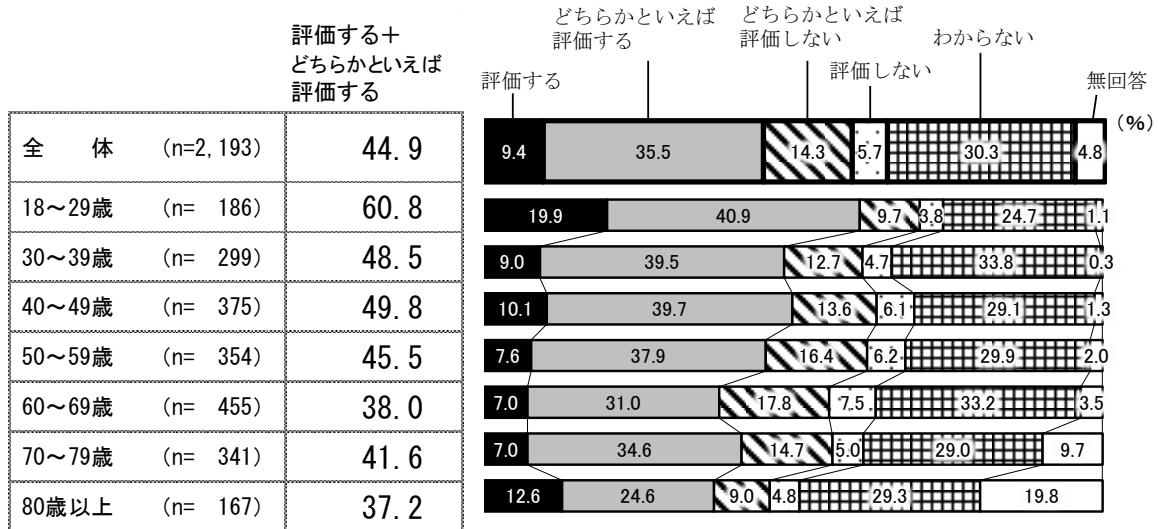
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が53.8%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高く、18~29歳では6割を超えている。

問 10 3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が53.9%と高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高く、18~29歳では6割を超えている。

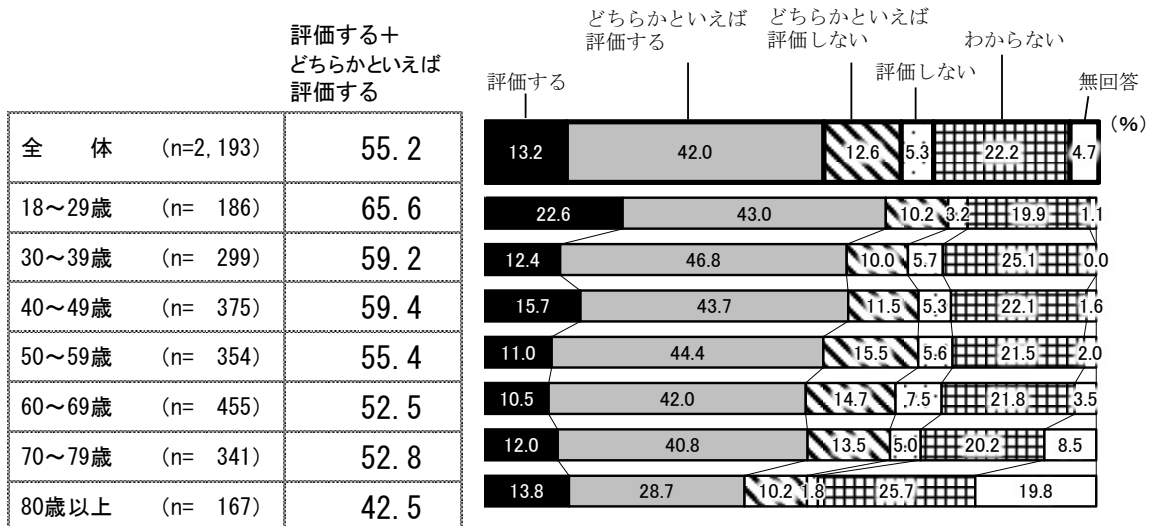
問 10 4. 仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が 44.9%と高めている。一方、“わからない+無回答”の割合が 35.1%と高くなっている。

年齢層別では、若年層で“評価する+どちらかといえば評価する”が、他の年齢層より高くなる傾向が見られる。一方、“わからない+無回答”の割合が、80歳以上で高くなっている。

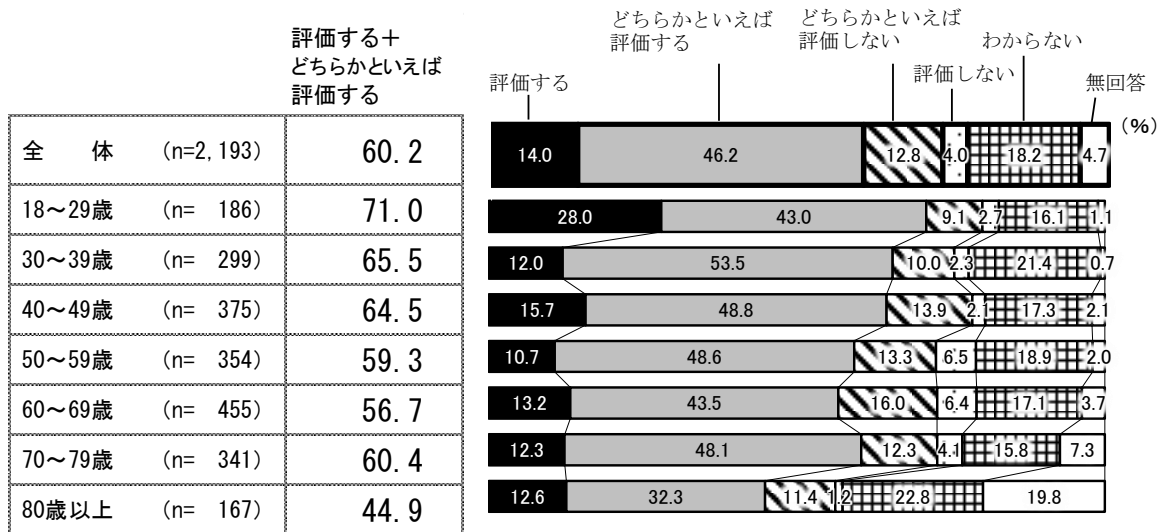
問 10 5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”割合が 55.2%と高くなっている。

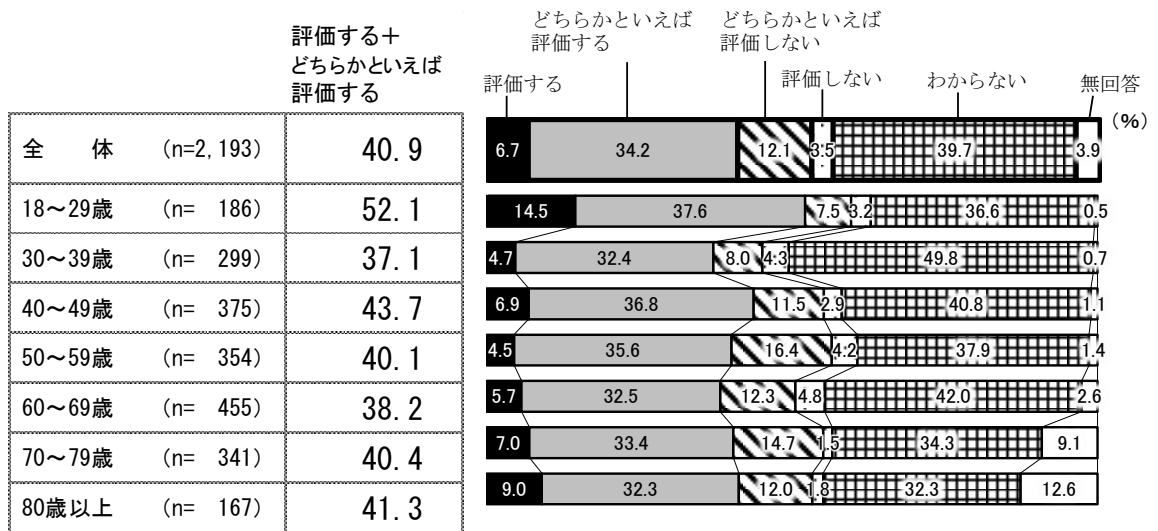
年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなる傾向が見られ、18~29歳では6割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、80歳以上で高くなっている。

問 10 6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信



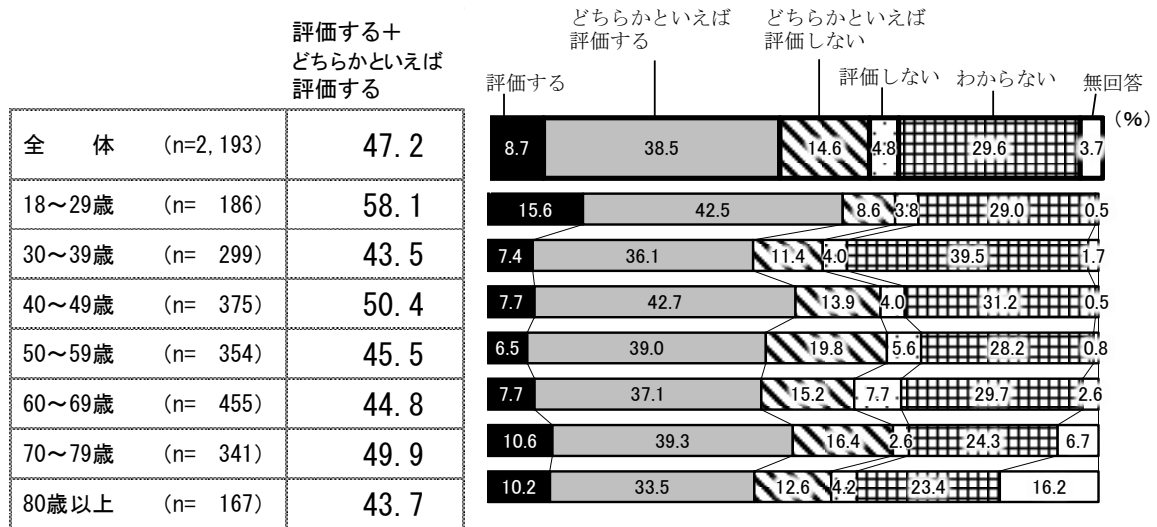
全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”割合が60.2%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合は、概ね年齢層が下がるほど高くなる傾向が見られ、18~29歳では7割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、80歳以上で非常に高くなっている。

問 11 1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”割合が40.9%と高めとなっている。一方、“わからない+無回答”の割合が43.6%と非常に高くなっている。
 年齢層別では、18~29歳で“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、他の年齢層より高く、5割を超えている。一方、“わからない+無回答”の割合が、30歳代で高くなっている。

問 11 2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進



全体では、“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が47.2%と高めとなっている。一方、“わからない+無回答”の割合が33.3%と高くなっている。

年齢層別では、18~29歳で“評価する+どちらかといえば評価する”の割合が、他の年齢層より高く、6割近くに達している。一方、“わからない+無回答”の割合が、30歳代で高くなっている。

4. 自由意見

復興に向けた取り組みなどを含め、市政全般に関する自由意見を取りまとめたところ、以下のようになった。

意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

◆大分類

分類項目	件数
1 市政に対する意見	811 件
2 アンケートに対する意見	39 件
3 その他	17 件
総意見数（回答者数 672 名）	867 件

◆中分類（※大分類 1「市政に対する意見」を細分化）

分類項目	件数
1 学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり	29 件
2 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり	65 件
3 子育て支援や教育環境の充実	221 件
4 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり	86 件
5 自然と調和した持続可能な都市づくり	158 件
6 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	101 件
7 暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり	19 件
8 市政や公益活動への市民参加の促進	21 件
9 その他（市政関連）	111 件
総意見数	811 件

◆小分類（※中分類をさらに細分化）

分類項目	件数	
1 学びを楽しむ ミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり	1 ミュージアム施設の連携、学びを楽しむ	18 件
	2 文化・芸術活動	8 件
	3 「学都」に集積した人材や知的資源	3 件
2 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり	1 高齢者福祉	34 件
	2 障害者福祉	13 件
	3 健康づくり	9 件
	4 生活保護	9 件
3 子育て支援や教育環境の充実	1 いじめ防止対策	88 件
	2 子育て環境	66 件
	3 保育所の整備や相談事業等	37 件
	4 学校教育・教育環境	30 件
4 安全で安心な暮らしを支える環境づくり	1 道路の管理	31 件
	2 医療サービス・救急医療体制	28 件
	3 交通マナー	9 件
	4 地震・集中豪雨など災害対策	7 件
	5 街並みや景観	5 件
	6 防犯対策	3 件
	7 自転車対策	3 件

分類項目		件数
く り 5 自然と調和した持続可能な都市づくり	1 公共交通	67 件
	2 緑の保全・創出	18 件
	3 地下鉄（南北・東西線）	18 件
	4 良好な住環境の整備	11 件
	5 基幹となる道路ネットワークの整備	8 件
	6 ごみ減量・リサイクル	5 件
	7 公害防止や温暖化防止など環境保全	4 件
	8 都市再開発や市街地の活性化	4 件
	9 渋滞緩和	3 件
	10 その他（環境・都市づくり関連）	20 件
魅力と活力づくり 6 人をひきつけ躍動する仙台の	1 観光資源やイベントを生かしたまちづくり	30 件
	2 スポーツのための施設・サービス	14 件
	3 地下鉄東西線沿線のまちづくり	9 件
	4 地域産業の振興や雇用対策	7 件
	5 国際化関連	6 件
	6 中心部商店街	2 件
	7 芸術や文化の振興	2 件
	8 6次産業化など農業政策	1 件
	9 成長産業の育成・誘致	1 件
	10 その他（仙台の魅力づくり関連）	29 件
復興まちづくり 7 安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、暮らしや経済の再建、	1 津波防災対策	2 件
	2 被災された方々への生活再建支援	1 件
	3 農地の復旧や、大規模化などによる農業再生	1 件
	4 震災の記録と記憶の情報発信	0 件
	5 集団移転や復興公営住宅の建設など住まいの確保	0 件
	6 復興特区制度の活用などによる企業誘致や新産業の創出・集積	0 件
	7 その他（復興まちづくり関連）	15 件
市民動や8 進参へ公 加の益市 の市活政	1 広報政策	17 件
	2 市民参加によるまちづくり	3 件
	3 その他（市民参画関連）	1 件
（市政関連） 9 その他	1 行政運営全般	29 件
	2 税関連	22 件
	3 市民生活全般	17 件
	4 窓口サービスや職員	15 件
	5 前市長	11 件
	6 その他（公共施設について等）	17 件
総意見数		811 件

市政に対する意見について、＜中分類＞の分類項目ごとに件数が多かった順に見ると、『3子育て支援や教育環境の充実（221件）』が最も多く、次に『5自然と調和した持続可能な都市づくり（158件）』、『10その他（市政関連）（111件）』が続いている。

『1学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1ミュージアム施設の連携、学びを楽しむ（18件）」では、音楽ホールの建設を望む意見が寄せられている。

『2誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1高齢者福祉（34件）」では、高齢化の進行に伴う諸問題に対応するため、特別養護老人ホームなどの施設整備や金銭負担の軽減を望む意見が寄せられている。

『3子育て支援や教育環境の充実』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1いじめ防止対策（88件）」では、子どもたちが安全に、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを求める意見が寄せられている。また、「2子育て環境（66件）」では、安心して子供を産み、育てることができる環境づくりを求める意見が寄せられている。

『4健康で安全に安心して暮らせるまちづくり』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1道路の管理（31件）」では、道路の凸凹の修繕や雑草等の手入れを望む意見が寄せられている。また、「2医療サービス・救急医療体制」（28件）では、子どもの医療費の助成充実を望む意見が寄せられている。

『5自然と調和した持続可能な都市づくり』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1公共交通（67件）」では、地下鉄東西線開通で再編したバスのダイヤや路線の見直し、運賃の見直し、その他利便性の向上を望む意見が寄せられている。

『6人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1観光資源やイベントを生かしたまちづくり（30件）」では、仙台の歴史や食文化を観光資源としたまちづくりなどを望む意見が寄せられている。

『7暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1津波防災対策（2件）」では、費用面や効果面に関する意見が寄せられている。

『8市政や公益活動への市民参加の促進』について、＜小分類＞の分類項目の中で件数が多かった「1広報政策（17件）」では、仙台市で行っている施策や取り組みについての情報発信の充実を望む意見が寄せられている。

最後に、『9その他（市政関連）』について、＜小分類＞の分類項目ごとに件数が多かった順に見ると、「1行政運営全般（29件）」では、市民の生活向上に努力して欲しいなどの意見が寄せられている。また、「2税関連（22件）」では、住民税や水道料金の負担軽減についての意見が寄せられている。

Ⅲ. 資 料

平成 29 年度「施策目標に関する市民意識調査」調査票

はじめに、仙台市の住みやすさなどに関しておたずねします。

問 1 あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |
| 5 わからない | |

→ 1 または 2 と回答した方にお聞きします。上記で、1 または 2 を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 友人・知人などがいる | 2 自然環境に恵まれている |
| 3 通学、通勤、買い物など生活が便利 | 4 楽しく遊べる場所が多い |
| 5 地域の間人関係が良い | 6 治安が良い（安心・安全） |
| 7 医療・福祉サービスが充実している | 8 教育環境が充実している |
| 9 雇用が充実している | 10 スポーツ・文化施設が充実している |
| 11 生まれ故郷なので良く知っている | |
| 12 その他
(具体的に: _____) | |

問 2 あなたは、仙台市に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 とても愛着を感じている | 2 どちらかといえば愛着を感じている |
| 3 どちらかといえば愛着を感じていない | 4 愛着を感じていない |
| 5 わからない | |

問 3 あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 住み続けたいと思う | 2 どちらかといえば住み続けたいと思う |
| 3 どちらかといえば住み続けたいと思わない | |
| 4 住み続けたいと思わない | 5 わからない |

→ 3 または 4 と回答した方にお聞きします。上記で、3 または 4 を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 自分の家（土地）ではないから | 2 家賃・地代が高いから |
| 3 物価が高い | 4 生活環境が悪い |
| 5 自然環境が悪い | 6 防災の面で不安 |
| 7 通学、通勤、買い物が不便 | 8 子供の教育環境が悪い |
| 9 自分に合った仕事が見つからない | 10 地域の間人関係が良くない |
| 11 その他（具体的に: _____) | |

仙台市の施策についておたずねします。

問 4 あなたは、仙台市の「学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1~3 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. めるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり	1	2	3	4	5	
2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力的な環境づくり	1	2	3	4	5	
3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	1	2	3	4	5	

問 5 あなたは、仙台市の「誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1~4 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	
2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	1	2	3	4	5	
3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	1	2	3	4	5	
4. 障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり	1	2	3	4	5	

問 6 あなたは、仙台市の「子育て支援や教育環境の充実」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1～8 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価 する	どちら かとい えば 評価 する	どちら かとい えば 評価 しない	評価 しない	わか らな い	力をい れるべ き施策
1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり	1	2	3	4	5	
2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり	1	2	3	4	5	
3. 「のびすく（※）」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり	1	2	3	4	5	
4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実	1	2	3	4	5	
5. 子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	1	2	3	4	5	
6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	1	2	3	4	5	
7. 児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり	1	2	3	4	5	
8. 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり	1	2	3	4	5	

※「のびすく」：乳幼児の親子が自由に交流できるスペースの提供や、理由を問わない託児などを行っている子育て支援施設。

問7 あなたは、仙台市の「安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の1～6の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 医療サービスや救急医療体制の充実	1	2	3	4	5	
2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新	1	2	3	4	5	
3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化	1	2	3	4	5	
4. 消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化	1	2	3	4	5	
5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実	1	2	3	4	5	
6. 防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり	1	2	3	4	5	

問8 あなたは、仙台市の「自然と調和した持続可能な都市づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の1～7の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 温室効果ガス排出量削減や省エネ・創エネ・蓄エネ（3E）の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり	1	2	3	4	5	
2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	1	2	3	4	5	
3. レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化	1	2	3	4	5	
4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	1	2	3	4	5	
5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成	1	2	3	4	5	
6. 都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり	1	2	3	4	5	

7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	1	2	3	4	5	
---------------------------------------	---	---	---	---	---	--

問9 あなたは、仙台市の「人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の1~11の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出	1	2	3	4	5	
2. 働く女性が個性と能力を發揮できる環境づくりや女性の積極的な登用等、企業等における女性の活躍推進	1	2	3	4	5	
3. 賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	1	2	3	4	5	
4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化	1	2	3	4	5	
5. 国内外の観光PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大	1	2	3	4	5	
6. 国際交流の推進	1	2	3	4	5	
7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	1	2	3	4	5	
8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	1	2	3	4	5	
9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援	1	2	3	4	5	
10. IT や健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致	1	2	3	4	5	
11. 市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり	1	2	3	4	5	

問 10 あなたは、仙台市の「暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1～6 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○(複数可)をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援	1	2	3	4	5	
2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援	1	2	3	4	5	
3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興	1	2	3	4	5	
4. 仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致	1	2	3	4	5	
5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策	1	2	3	4	5	
6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信	1	2	3	4	5	

問 11 あなたは、仙台市の「未来をつくる市民力の拡大と新しい市民協働の推進」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1～2 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○(複数可)をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 地域団体や NPO の活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	
2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進	1	2	3	4	5	

最後に、あなたご自身や世帯の状況についておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

※現在の社会生活上の性別（自分がどちらの性として日常生活を送っているか）をお答えください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 | 4 40～49 歳 |
| 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 | 7 70～79 歳 | 8 80 歳以上 |

F3 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 2 持ち家（集合住宅） | 3 賃貸住宅（一戸建て） |
| 4 賃貸住宅（集合住宅） | 5 社宅・官舎・寮 | 6 応急仮設住宅 |
| 7 その他（ ） | | |

F4 あなたご自身のお仕事は大きく分けて、次のどれにあたりますか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 経営者、役員 | 2 会社員、公務員など常勤の職員 |
| 3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職 | 4 自営業者またはその家族従業者 |
| 5 専業主婦・主夫 | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他（ ） |

F5 現在同居されている世帯の構成はどのようになっていますか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 一人暮らし | 2 夫婦のみ |
| 3 二世帯世帯（あなたの世代と親） | 4 二世帯世帯（あなたの世代と子ども） |
| 5 三世帯世帯（あなたを含めて三世帯） | 6 その他（ ） |

F6 あなたのお住まいの場所（区）をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|------|
| 1 青葉区 | 2 宮城野区 | 3 若林区 | 4 太白区 | 5 泉区 |
|-------|--------|-------|-------|------|

F7 あなたが仙台市（合併前の旧市町村を含む。）にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～3年未満 | 3 3～5年未満 | 4 5～10年未満 |
| 5 10～20年未満 | 6 20～30年未満 | 7 30年以上 | |

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
なお、市政各般に関するご意見などがございましたら、下欄にご記入ください(紙幅が不足する場合、お手持ちの用紙などにご記入願います。)

[ご意見など]

施策目標に関する市民意識調査
(平成29年度市民アンケート取りまとめ)
報告書

平成29年8月発行

調査主体：仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号
TEL 022-214-1268
調査受託：株式会社東日本リサーチセンター

